

バール河殖民地



(法取採の金黃)

バール河殖民地は舊トランスバアルと稱せし地にして南アフリカ共和國の名の下に一の獨立國を成せしがイギリスの爲に併はせられたり、ドラケンベルグ山脈は南北に貫きて河流は概リンポポの流域に屬し、氣候は概して良好なり、住民白人凡そ三十萬人、黒人凡そ四十萬人は主として採鑛牧畜に従事するが金の産額は甚多

オレンジ河殖民地

ナタル殖民地

喜望岬殖民地

量にして世界第一たり、首府はプレトリアなるがヨハンネズブルグは當殖民地第一の都會にして産金地の中心たり。オレンジ河殖民地は舊オランジェ自由國と稱せしがイギリスの領土と成りし際、今の名に改む、オレンジ、バアル等の河流にて挾まるる臺地より成りて水脈には乏しからず、氣候は溫和にして健康に適すれども降雨は充分ならず、住民白人凡そ七十萬人、黒人凡そ十三萬人は主として牧畜に従事し又金剛石を採取す、首府をブルームホントインと云ふ。

ナタル殖民地は地味肥沃にして専農牧に従事しナタル港は盛に貿易に従事す。

喜望岬殖民地は耕種を主とし林産鑛産に富み、蒸餾業、製革業等に従事す、首府ケープタウンは交通上の要處にして

商業繁榮す、キンバレーイは金剛石の産地にあり。

●島嶼部

アフリカ洲に屬する島嶼は分ちて印度洋島嶼及太西洋島嶼の二部とす。

印度洋島嶼

印度洋島嶼

ソコトラ島
セイシユル諸島
アマランテ諸島
コモロ諸島
マスカレンハス諸島
マダガスカル島

太西洋島嶼

太西洋島嶼

セントヘレナ島
ギニア灣諸島
綠岬諸島
カナリア諸島
マデイラ諸島
アソレス諸島

セイシユル諸島に屬するマヘ島にビクトリア港あり、交通上の要處たり。

マダガスカル

マダガスカル島は本洲第一の巨島にして世界第三の大島なるが、地味は佳良にして土人の多きは東岸の地なるも

セントヘレナ

温地産の人には適せず、内部は健康地に富むも南部は生産力に乏し、此の島はフランスに屬し牛革、カウチヤ、ラヒア等を産するが首府をタナタナリブと云ふ。
マスカレンハス諸島は珈琲と甘蔗との栽培に適するがレユニオン島はフランスに屬し、モーリシヤス島はイギリスに屬せり。

セントヘレナ島はナポレオンの居住せしを以て有名なが、アスセンシオン島と共にイギリスに屬す。

マデイラ諸島は珈琲、甘蔗、葡萄を産し、アソレス諸島は柑類、葡萄を與ふるが共にホルトガルに屬し、カナリア諸島はエスパニアに屬し、ギニア灣諸島中にはエスパニアに屬するものあり又ホルトガルに屬するものあり。

あめりか洲

● 總論

アメリカ(亞米利加)洲は一に新世界と云ふ、アジア洲に次
 げる大洲にして殆ど同一の形狀を有する二個の大陸より成
 れり、而して此の南北の二大陸を連絡する陸地に二派あり
 西派は中央アメリカと稱する山岳多き狹長の陸地にして
 東派はアンチル列島と稱する數多の島嶼なり。
 北は北氷洋に臨めるが境界明確ならず、東はアトラン
 洋即ち大西洋を挟みてヨーロッパ、アフリカの二大洲と相對し、
 南は南氷洋に瀕し西は太平洋を隔てて遙にアジア、オース
 トラリアの二大陸と相對す。

I. Leeward island

境
域

海	海	海	地
峽	灣	岸	積
<p>アメリカ大陸は南北に長く北アメリカと稱する地は南 アメリカより大にして兩部を合すれば總地積は四千一百 三十萬方浬と成りて殆ど我が帝國の百倍に當れり。 海岸線に就きては西部より東部に於て、南アメリカより 北アメリカに於て遙に屈曲の多きを見る。</p>			
<p>北氷洋メルビル灣 ブーシア灣</p>			
<p>海灣 太平洋 バッピン灣 ハドソン灣 セントローレンス灣 メキシコ灣 アンチル海</p>			
<p>太平洋 パナマ灣 カリホルニア灣 北部 ロビンソン Davis ハドソン 東部 フロリダ ユカタン 南部 マガラエス(マジュラン)</p>			
<p>海峽 西部 ベーリング</p>			

半島	地峡	地角	I. Aleutian 島嶼
北部 ブーシア	テファアンテペック ホンヂャラス パナマ	北海道 バロー	北部 パーリー諸島 グリーンランド島
半島 ラブラドル フロリダ ユカタン	北海道 ヨーク サンロク ホーヌ	東海岸 アグジ サンリカス エールス公	東部 ニールハウンドランド島 バハマ諸島
西部 カリホルニア アラスカ		西海岸 アグジ サンリカス エールス公	南部 ホークランド諸島 ナエラデルフェイ島
			西部 アレウト列島 バンクーバー島 ナロエ群島

山岳

アメリカ洲に於ける山脈の趨勢は極めて單純なり、南北の兩部にありては殆ど同様にして概し南北の方向を有せるが中部にありては東西に走れるもの多し而して山脈は東西の二派より成りて中間に廣漠たる平原を抱括せり、其の西派山脈は高嶺秀峯に富める隆起帶を爲して大陸の西岸に沿ひ、其の東派山脈は斷續常なくして顯明を缺けるも三千米突に達することなきにしもあらず。

北部	アラスカ山脈 セントエリアス山(五九〇〇)
	カスケード山脈 ライニアー山(四〇七五)
	シエラネバダ山脈 ホワイトネー山(四五四〇)
	ロッキームンテン山脈 ブラッ山(五三〇〇) フーカ山(五二〇〇)
	メキシコ諸山 ボボカタベートル(五五〇〇)

1. Chile
2. Argentin

西派 中部 地峽山脈、メネズエラ山脈

アンデス山脈

南部

コロンビア部 トリヤ山(五六一六) エシアル部 チンボラツタ(六三二〇)

ペルー部 パリナコタ(六三七六) ボリビア部 ソラタ山(六四八〇)

チレ一部 トボンガド(六一七八) ²アルヒエンチナ部 アコンカガ(六八三四)

北部 ローレンタード山脈 アレガニー山脈

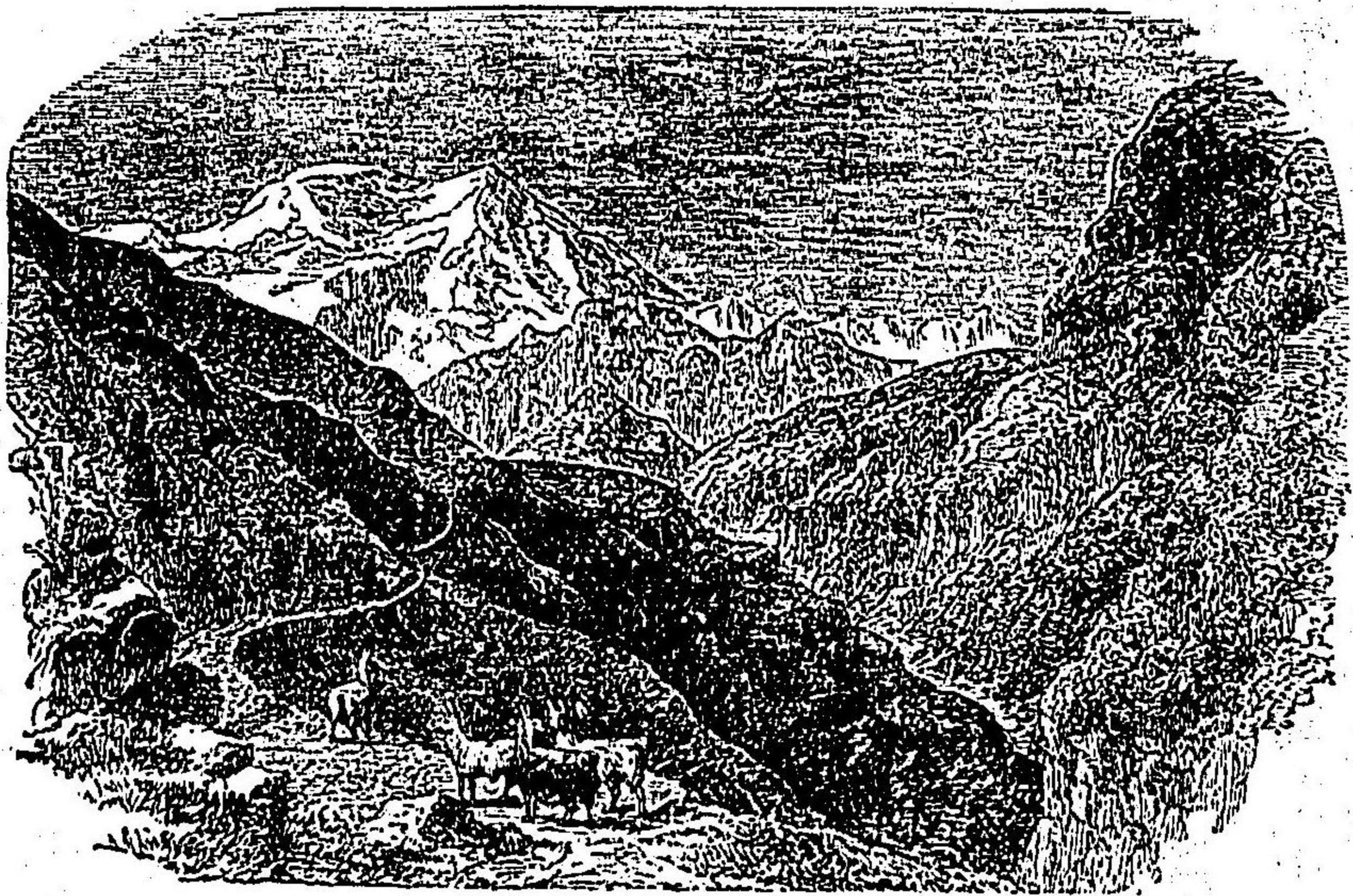
東派 中部 大アンタル諸島 小アンタル諸島

南部 グイヤナ山彙 ブラジル山脈

河流、湖沼

アメリカ大陸は北氷洋、大西洋、太平洋の三大斜面より成るも各斜面の廣袤は一様ならずして甚しき懸隔を呈供せり、太平洋斜面は狹長なれば巨流の存するを見ず、北氷洋斜面は稍廣大なるも降雨多からざれば顯著なる水流に乏し、獨、大西洋斜面は廣大なるのみならず、雨量の饒多なる地に

地勢



(ア、デ、ン、ス、山、脈——羊、駝)

乏しからざれば河流にはセントローレンス、ミシシッピ、アマゾン、パラナ、プラタ等あり、沼湖にはスーペリオル、ミシガン、フロン、エリエ、オンタリオ等あり。
北部にありてはロッキーマウンテン一帯の地、アレガニー山脈地方を以て山地とす、ミシシッピ平原、セントローレン

川の流域は土地肥沃にして灌漑の利を有するも、ラブラドル、圓極平原等の地は寒冷に失する無用の地なり、南部に於てはアンデス山脈は急峻なる山地を爲すも其の他の山地は著しからず而して季節に依りて乾燥の荒地と成り、濕潤の草原と變ずるリアノス地方、鬱鬱たる森林に富めるセルバス地方、草原の地なるバンバス地方等は南アメリカの低地を組成す。

氣候

北部の大平地にありて之を東西に横斷する高處の存するなきを以て極地の寒風は勢威を逞しうするが故に氣温は甚だ低し、然れども太平洋沿岸の地並に大西洋に瀕して灣流の恩恵を蒙むる地は氣温概溫暖なり、而してメキシコ灣に接する地は溫度極めて高し、中部に於ては概して暑氣強く

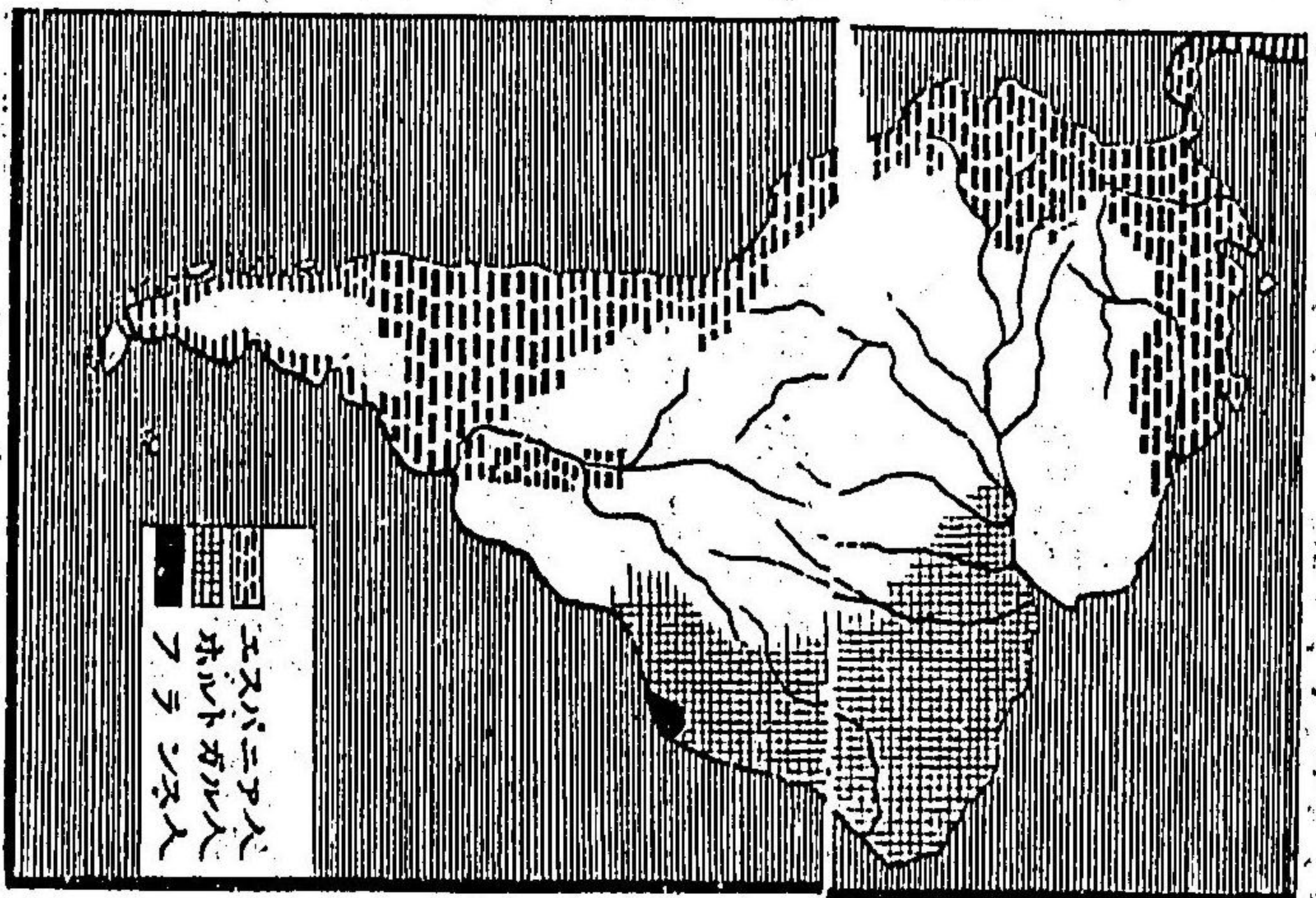
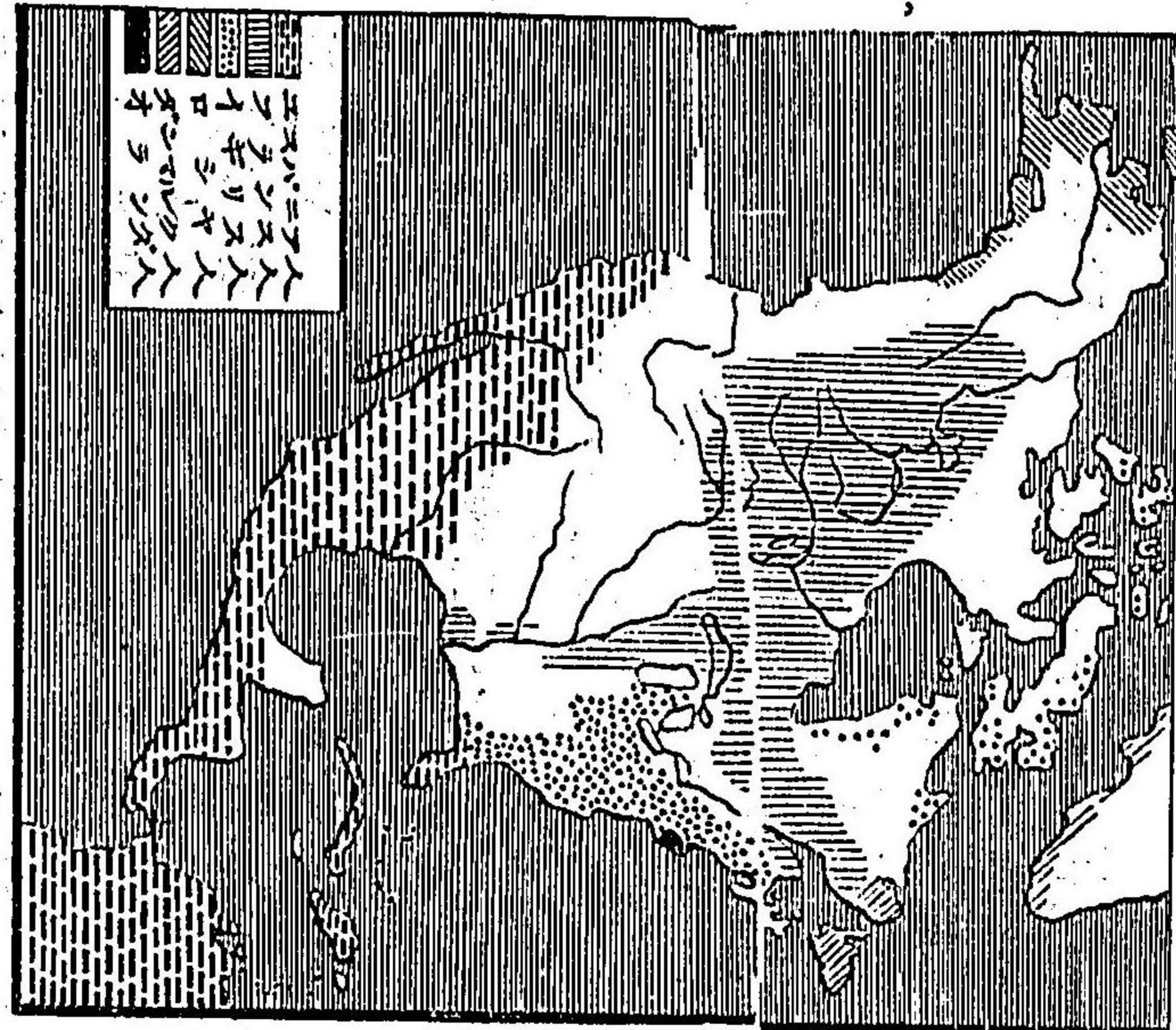
天産

南部の氣温は概溫暖なるが南端は大に寒冷を感ず、降雨に就ては北部に於て其の量、少なからざるが北西平野の北部と合衆國の東部は最少なし、南部は概多雨の地なれども濕氣に乏しき部分並に乾燥に失する部分の存せざるに非ず。鑛物には金、銀、白金、金剛石、寶玉、鐵、鉛、石炭、石油等あり、植物には「キナ」、「ユコア」、其の他、木材、染料等あり、動物は概して巨大ならざるが猿猴類、猫類、獺、羊駝、響尾蛇、其の他、本洲の特産のものあり。

住民

アメリカ洲の人口は極めて稀薄にして一方籽に對し三人の割合なるが種族上は北アメリカには白人最多く、黒人、土人、黃人等之に次ぎ、南アメリカには土人多く、白人之に次ぎ、黒人、黃人の數は著しからず、然れども雜種人は甚だ多し。

人パロエ住移の期初るは於に科かりぬあ



分 國

本洲には四合衆國、十五共和國ありて其の他はイギリス、オランダ、ダンマルク、フランス等の間に分領せらる。

部		面積	人口	都 府
邦	土			
ア				
北				
ダンマルク領	カナダ領國	八八二〇〇 <small>カ</small>	一〇五二六	オッタワ
イギリス領	ニールランド領地	一、一〇六七〇	二〇八〇〇〇	セントジョン
フランス領	セントピエール島	三二〇八〇〇	四一〇六	
アメリカ合衆國	ハワイ領土	九三三〇一〇	七三三九五〇〇	ワシントン
メキシコ共和國		一九八七三二四	二二六三二四二七	メキシコ
メ				
中				
イギリス領		二二四七五	三四七四四	
ホンダラス共和國		一一九八二〇	三九八八七七	アシシガルバ
サルバドル共和國		二二〇七〇	八〇三五三四	サンサルバドル

カ		リ	
部		中	
ベネズエラ合衆國	グイアナ地方 オランダ領 フランス領	イギリス領 オランダ領 フランス領	メキシコ共和国 グアタマラ共和国 コスタリカ共和国
一〇二七〇三〇	二四、六四七〇 一一、九一〇〇 七、八九〇〇	二、八八三三三 九三、一四 三、四四九九 二、五九一	一、二三五五〇 一、三五二〇〇 五、四〇、〇〇〇
二四、四八一六	二七、九四〇七 八〇、九七〇 三〇、三二〇	九、五三、三三三 一、五四、八四六八 三、五、七八八七	二、六二、七〇〇 一、三六、四六、六八 二、六二、七〇〇
カラカス	ジョージタウン パラナリボ カイエンヌ	クランソー セントトーマス	レオン グアタマラ サンジョセ

洲	
南	
コロンビア共和国	ボリビア共和国
エクアドル共和国	チレ共和国
ペルー共和国	ブラジル合衆國
パラグアイ共和国	ウルグエイ共和国
アルゼンチナ共和国	イギリス領
一、三三、〇八七五	一、三三、四二〇〇
三〇、七二四三	一、三三、四二〇〇
一、七六、九八〇四	一、三三、四二〇〇
四、五、九、五五〇	一、三三、四二〇〇
一、四〇、〇〇〇〇	一、三三、四二〇〇
二、七、九四〇七	一、三三、四二〇〇
八〇、九七〇	一、三三、四二〇〇
三〇、三二〇	一、三三、四二〇〇
ボゴタ	ラパス
キト	サンチャゴ
リオデジャネイロ	フエノスアイレス
モンテビデオ	

北あめりか

◎ グリーンランド

グリーンランドはアメリカ大陸の北東にあり、大島にして極北の地は

未詳ならず、東岸は航行極めて難く、西岸は結氷の障害稍、少なし、内部は臺地を爲し、氣温は低く不滅の雪にて蔽はる、西岸にはマンマルク人の領地あり、住人はエスキモー、雜種等なり。

●イギリス領

イギリスの領土は北アメリカの北半部を占め、其の廣さは殆どヨーロッパに均し而して行政上は分れてカナダ領國及ニューハウンドランドの二部を爲せり。

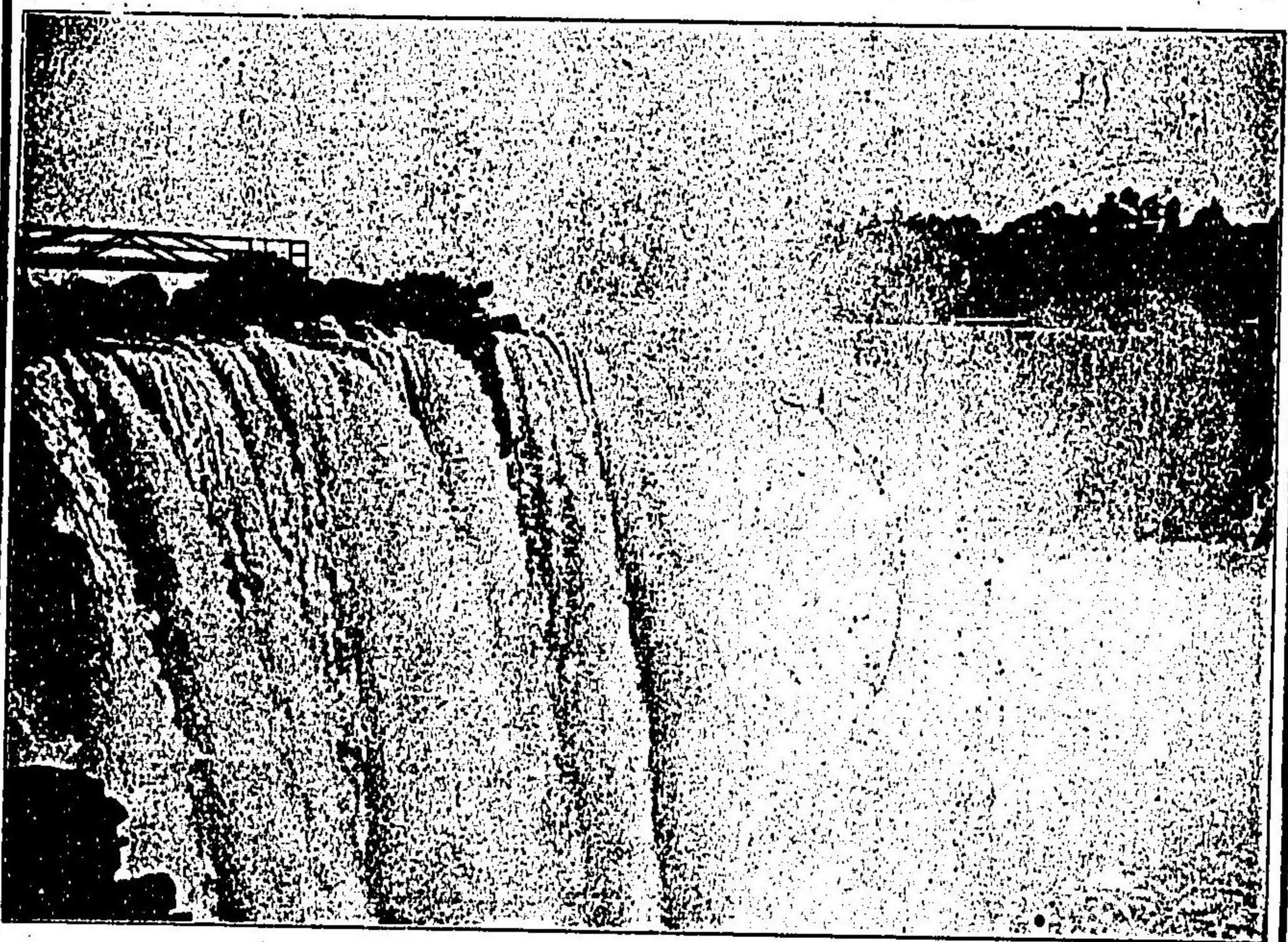
◎カナダ領國

カナダ領國(Dominion of Canada)は北東にバフィン海、ダビン海峽を隔てて、グリーンランドと相對し、東岸は大西洋に瀕し、南はアメリカ合衆國に境し、西は太平洋に臨み、アラスカと境を接せり。

セントローレンス河三二五〇〇軒は水源を八十餘流に發し世界第一の淡水

境域

セントローレンス



(布 瀑 ラ ガ ア イ ナ)

湖たるスーペリオル(八、三〇〇〇方軒)と成り、ミシガン湖に通ずるフロン湖に連なり、エリエ湖を經、ナイアガラ河と成り有名の瀑布、高さは五十六乃至十米、突あるが分かれ、二部と成り、其の幅大なるは六百米、突小なるは二百七十米、突なり、を爲したる後にオンタリオ湖に入る、此の湖を出づるや始めてセントローレンス河と稱す、オタワ、リッシー、サグネイ等の支流を受け、一大巨流を爲してセントローレンス灣に注ぐ、交通上に利便を供すること甚だ大なり、實に無比の良

氣候

河なりと云ふべし。

地勢上、本領國は三部に區分し得べきものなるが、カナダ地方は寒威甚しく天然林鬱鬱たり、北西大平野は寒地極めて凛烈にして到底人生の繁殖を見る能はざるべく、コロンビヤ地方は氣温甚しく低下せずして降雨多く耕耘に適する土地も亦少なからず。

住民

住民の大多數は白色種にして土人は甚少なし而して本領國は其の名イギリス領たるも實際に於ては專自治に依るを以て殆獨立國たるが如し。

生業

農業は穀類を産し、牧畜は數千萬の畜類を飼養せり、森林は多量の木材を産し、漁業はセントローレンスの河灣並に各處の河湖に於いて行はる、鑛業は石炭、黄金等を採掘し、輸

都邑

出品は木材、酪類、穀類、畜類、魚類等とす、而して交通に關して最著しきはパシフィックカナディアン鐵道とす、此の線路はハリハックス港を起點としてモントリールを經、スーペリオル湖の北岸を走り、ロッキーマウンテンを越えてバンクーバー港に達す。ハリハックスは良港を有するを以て交通上極めて樞要なり、モントリールは殷賑の地にしてカナダ第一の都會なり、オタワは領國の首府にして政治の中心たり、バンクーバーはフラザー河口の新開地なるがパシフィックカナディアン鐵道の竣功以來頓に盛況を呈し有望の市街と成れり。

セントジンは同名の河口にあり交通上の要地なり、クベックはカナダ最舊の市街なるが稍繁華の地なり、トロントはオンタリオ湖に瀕す、商業甚だ盛にしてカナダ第二の都會たり、メウソンは産金地にあり

◎ ニューハウンズランド島

ニューハ
ンドランド

ニューハウシンドランド島は同じくイギリスの領土なるもカナダ領國に屬せずして別に一の殖民地を爲せり、住民は盛に漁業に従事す。

●アメリカ合衆國

アメリカ合衆國(United States of America)は北アメリカ大陸の中部を占め、北はカナダ領國に接し、東は大西洋に臨み、南はメキシコ灣に瀕し、又はメキシコ共和國と境を交へ、西には太平洋を控へたり、而してアラスカ領地はイギリスコロンビアを隔てて大陸の北西端を形成す。

海岸は屈曲に乏しからず、東岸に於ては廣大なる灣港の存するあり、西岸は屈曲に乏しきも多少の狹灣あり。

ロッキー山脈は西部に偏在して山地を形成し、太平洋の海

境域

海岸

山岳

岸に於けるカスケード山脈、沿岸山脈、シエラネバダは一の高臺地の西界を爲せり、ロッキー山脈の東にありては土地平坦にして起伏に乏しき一大平野を爲せるが地味極めて肥沃なり、平地の東端には海拔の著しからざるアレガニー山彙あり。

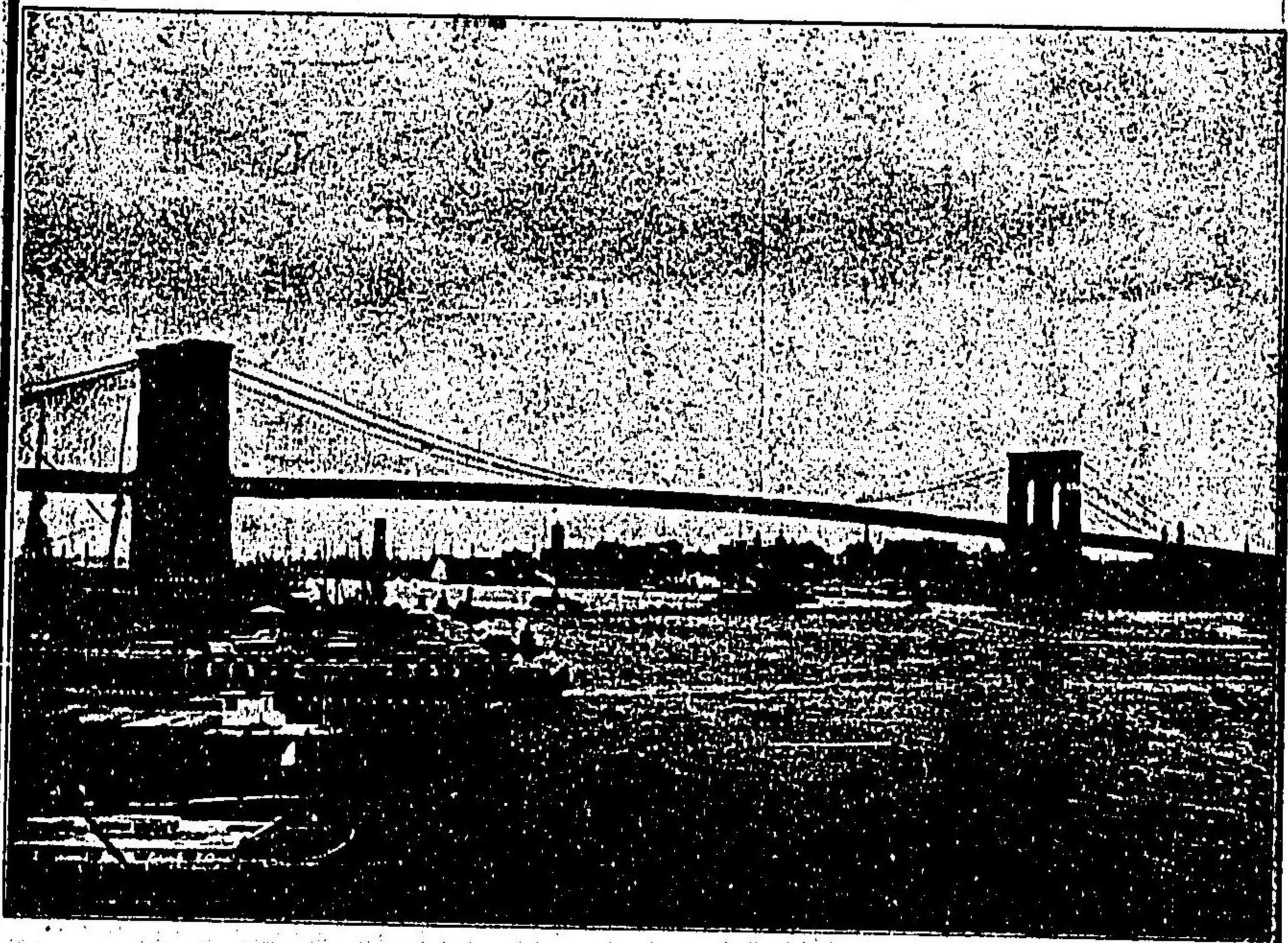
河流、沼湖

河流にはメキシコ灣に入るミズーリー、ミシシッピー、リオグランデ等あり、太平洋斜面にリオコロラドあり、沼湖にはスーペリアル、ミンガン、フロン、エリエ、オントリオ等あり、西部の高地には大鹹湖あり。

ミシシ
ッピー

ミズーリー、ミシシッピー河は世界第一の長流にして、長は七千二百裡に達す、ミズーリー河はロッキー山脈に發し、メゴタ、イエローストン等の支流を受け、ミシシッピー河に入る、ミシシッピー河は水源をイタスカ湖に發し、草原の地を潤し、ミズーリー河、オハヨ河等を合はせたる後は水勢漸く強く、河幅は二

氣候



(橋ンリクールグーバーリトスーイ)

千米突の平均を有し三角洲を爲してメキシコ海に入る。氣溫の年平均は五度より二十一度までの間にあり、北部並に中部に於ける氣溫の特性は夏季の酷暑と冬季の嚴寒とに加ふるに寒暑の激變を觀るにあり、北西地方は乾燥にして健康に適するも寒氣極めて凜

住民

烈なり、南部には健康に適せざる所あり、氣候上、最多の幸福を有するはカリホルニア地方なりとす。

住民は稀薄ならずと云へざれども百年前の十五倍半に達したり、而して毎年の來住者は凡そ二十三萬人あり、宗教は概して耶蘇教行はれ、教育は初等教育全國に普及し、中等高等の教育機關備り、ハーバード、エール等の大學は著名なり。

政治

國體は合衆共和國にして一合衆區、四十五州、六領土より成れるが統治權を行政、立法、司法の三權に分つ、大統領は内閣の高官、各省の屬僚を率ひて行政を司り、元老院と代議院との二院より成る合衆議會は法律を制定し、司法權は高等法院、覆審法院、地方法院等に屬せり、而して陸兵は三萬、海軍兵艦は二十三萬噸あり。

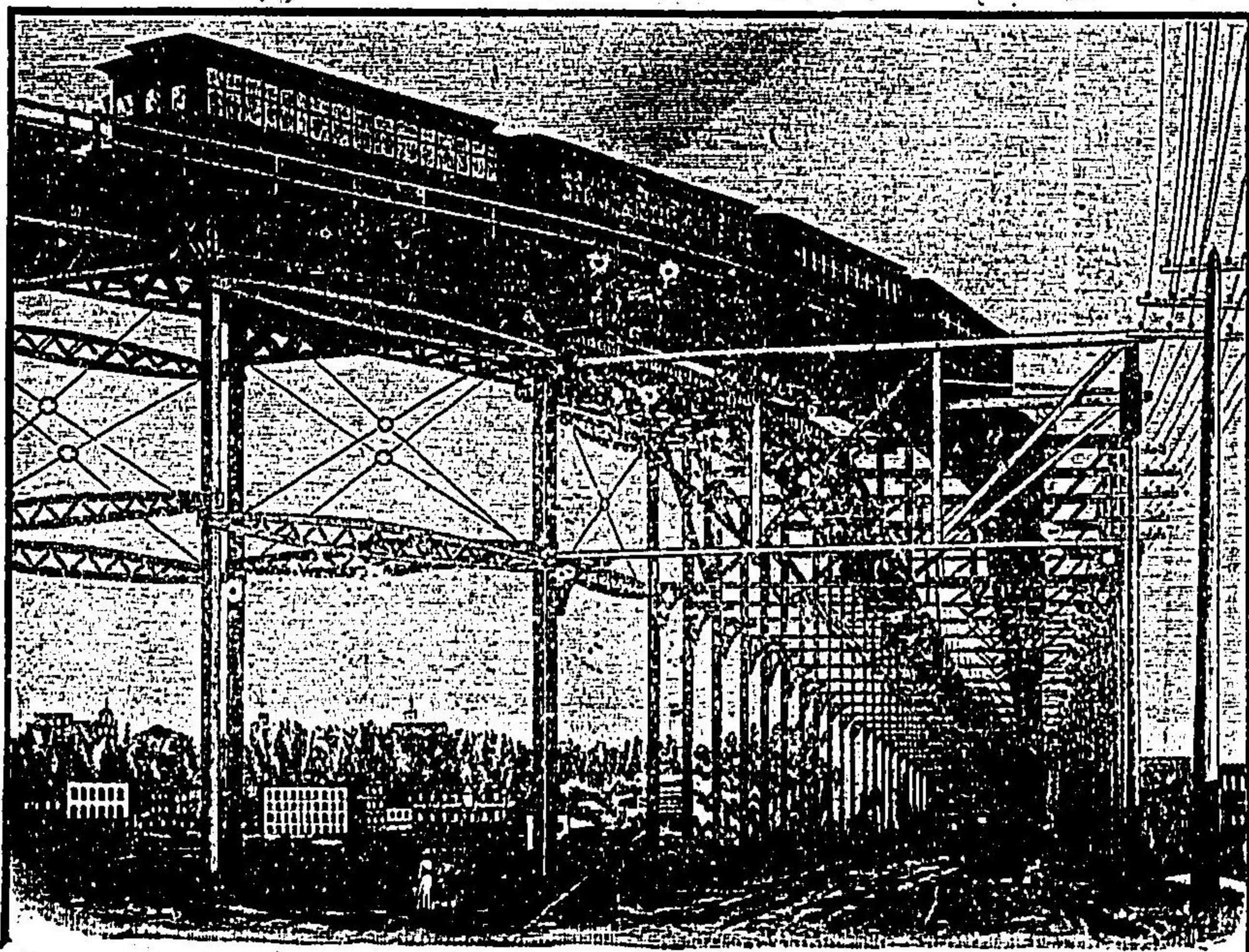
生業

ミシシピ―河の流域の北西部は小麦の耕作並に食牛の飼養に適し、其の他の部にありては小麦、玉蜀黍、燕麥等の穀類を産出し、南部は殊に實綿の産出極めて盛なり、又葡萄の栽培はカルホルニア州に行はる、鑛業は金、銀、石炭、鐵、石油等を産するが工業は三十萬の製造所を有し製鐵業を以て最著しとす、輸出には實綿、穀類、肉、石油、獸類、銅、木材、煙草等あり、鐵路の發達せるは世界第一にして其の延長は二十九萬杆の上に出づ、大西洋沿岸より太平洋の海岸に達するもの數條あり又河海に依りての交通は大に開けたり。

ポストン

ワシントン

ワシントン(二三〇〇〇〇)はコロンビア合衆區にあり、アメリカ合衆國の首府にして街衢廣濶、道路整然たり、中央政府の所在地なれば頗る繁昌す、ポストン(四五〇〇〇〇)はマッサチ



(道鐵架高—ク—ヨ—ニ)

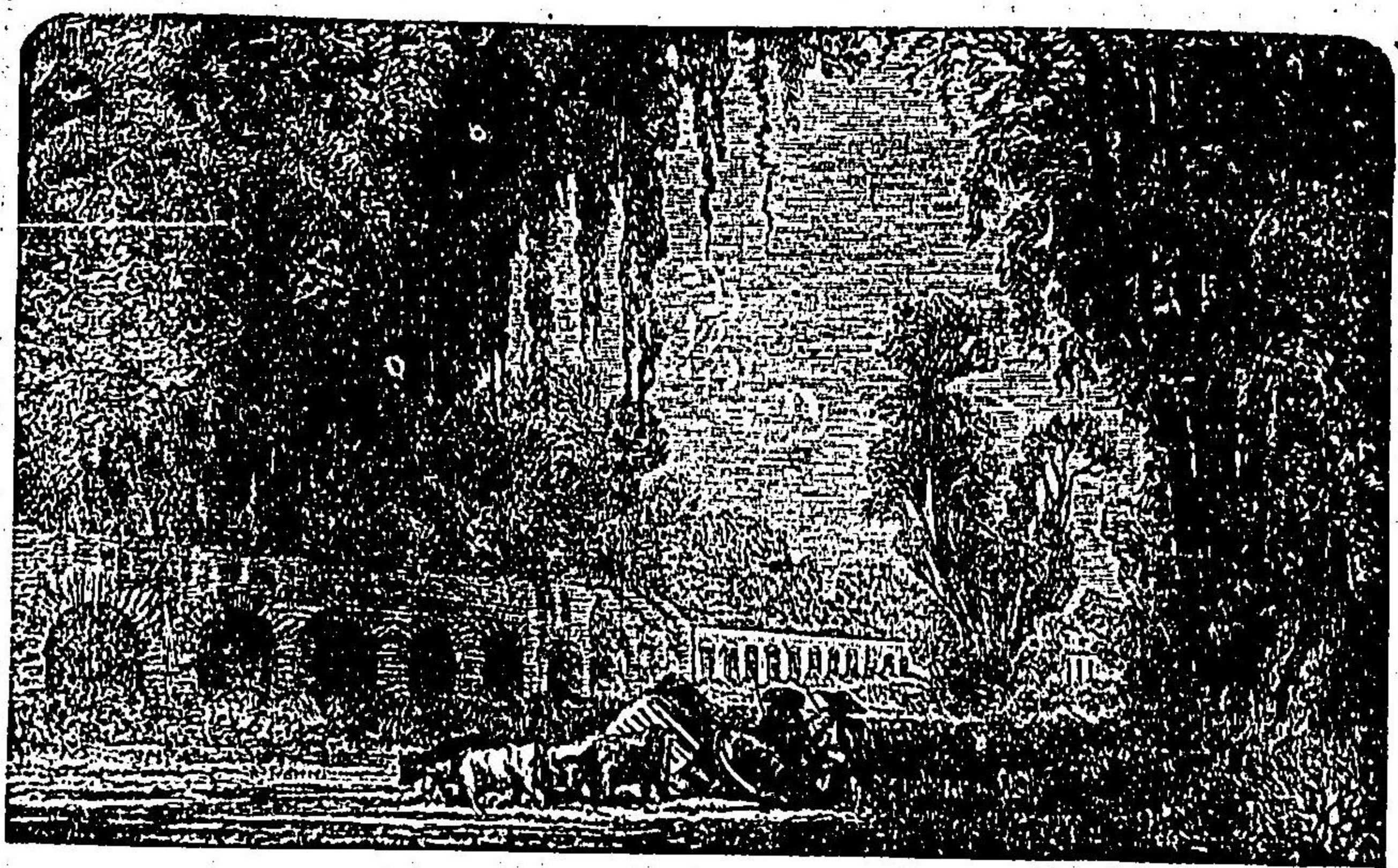
セント州の沿海地にありて一大商港を有す、大ニヨーク(三四四、〇〇〇〇)は合衆國第一の都會なり、港はバトソン河口にあり廣濶安全にして船舶の碇繋に便なれば百貨輻轉し商業極めて盛なり、實に世界第二の貿易港たるに恥

ならず、ロラデルヒア(一〇五、〇〇〇)は大船巨舶の出入に便ありて工場多きこと實に合衆國第一なり、ボータモ(四三、〇〇〇)は商工業の地なり、シカゴ(一一〇、〇〇〇)は盛に穀類の貿易、鹽豚の製造に従事する市街にして、ミンガン湖の南岸にあり、鐵路に依りて太西洋に通じ運河に依りてミシシッピ河に連なるが故に交通上極めて樞要の地位にあり、セントルイス(四五、〇〇〇)はミシシッピの中流にありて通商貿易の一大中心たり、新オクリアンズ(三四、〇〇〇)は綿の集散地にして當國第二の商港たり、サンフランシスコ(三二、〇〇〇)は東太平洋第一の都會たるのみならず世界屈指の商港なり、在留邦人少なからず、ピッツバーグ(二四、〇〇〇)は盛に製鐵に従事す、シンシナティは商工業の中心にして盛に

シアトルはタコマと共にプゲト灣に瀕する商港として名あり。
 殖民地
 アメリカ合衆國は從來モンロト主義に基づきてアメリカ洲以外に殖民地を領有するを務めざりしが、近時に至り主義を一變せしものか、或は協商に依りてハワイ群島を合併し或はエスバニアに對する戦勝の結果としてポルトリコ島、ヒリピン群島等を取得了たり、而して目下はクバ島をも占領し居れり。
 ●メキシコ共和國
メキシコ共和國(*Republica Mexicana*)は稍狭長なる三角形の陸地にしてメキシコ灣に瀕する海岸は沙濱なるが西海岸は高隆にして屈曲多く、カリホルニア半島は狭長にして海

氣候

住民



(カパテルクの水の道)

底淺き一灣を抱く。
 土地は一の高臺地を形成するが故に熱帯に在るに拘らず、海拔に依り熱地、溫地、寒地の別あり、而して一年は二季に分れ、夏季は降雨季にして冬季は乾燥季なり。
 住民は雜種、土人等多くして白人は少數なるがエスパニア語は廣く用ひらる、政體は合衆共和國にして

生業

メキシコ

中央アメリカ

て國會は二院より成れり。
 熱地及溫地は砂糖、實綿、藍、珈琲等を産するも、寒地は僅に麥を産す、牧業、林業も亦行はれざるに非ざるが、鑛業は當國第一の生業にして殊に貴金屬を産すること夥し、貿易は二億七千餘萬ペソにして貴金屬、ヘネクセン、珈琲、銅、畜類等を輸出せり。

首府メキシコ(三三三〇〇〇)は海拔二千三百米突の寒地にあり、繁華の市街たり。

フエンテは工業地なり、アカプルコは太平洋に臨む一港なり。

●中央アメリカ

中央アメリカ即中部アメリカの地峽部は太平洋とアンタル海との間にあり、狹長にして起伏多き土地なるが、至る

- 1. Guatemala
- 2. Salvador

イギリス領

グアテマラ

サルバドル

處に火山あり、氣候は雨多く温度高し、政治上六部に區分せられ、グアテマラ、サルバドル、ホンデラス、ニカラグア、ユスタリカの五部は獨立にして各共和國を爲し、一部はイギリスに屬して一の殖民地を爲せり。

イギリス領ホンデラスはホンデラス灣に瀕する一地域にして首府をベリズと云ふ。

グアテマラ共和國は中央アメリカにて最、廣く最、高き地にあり、住民の主要部はラヂノスなるが珈琲を輸出す、首府をヌエバグアテマラと云ふ。

サルバドル共和國は五共和國中にて地積の最、小なるものなるが、住民中にはラヂノス多く白人は少なし、珈琲、藍を輸出し、首府をサンサルバドルと云ふ。

ホンデラス

ニカラグア

- 1. Honduras
- 2. Nicaragua
- 3. Costa-Rica
- 4. Antilles

アンタル

1. ホンデラス共和國に於ける住民の過半はラヂノスにして銀、果實、木材等を産し、首府をテグシガルハと云ふ。

2. ニカラグア共和國は中央アメリカにて最、炎熱を感ずる地なるが珈琲、金等を輸出し、首府をレオンと云ふ。

3. コスタリカ共和國は地峽部の最、狭き處にあり、住民は殆ど純粹の白人より成れるが、珈琲、香蕉、木材、貴金屬等を輸出し、首府をサンジセと云ふ。

●アンタル諸島

4. アンタル諸島は一に西印度と云ふ、北部はクバー、ジマイカ、ハイチ、ポルトリコ等の大島より成りて大アンタルの名の下に東西に走り、南部は風諸島、風下諸島等の小嶼より成りて小アンタルと稱し、南北の方向を有す、而して北東にあ

るをバハマー諸島と云ふ、地質は一ならざるも高地に富み降雨多し、本群島は世界有数の豊饒地なり、植物に富み、甘蔗、珈琲、ユエア、煙草、實綿、等を産するを以て名あり、住民中には黒人大多數を占む。

アンタル諸島の獨立部はクバー、ハイナ、ドミニカの三共和國にして、屬領部はアメリカ合衆國、イギリス、フランス、オランダ、デンマルクの間に分たる。

◎ハイナ共和國

ハイナ共和國はハイナ島の東半を占む、住民には黒人多きも言語はフランス語を主とす、首府ポートル・アレンスは良港を有す。

◎ドミニカ共和國

ドミニカ共和國はハイナ島の西半を占む、住民には黒人多くしてエスパニア語を用ふ、首府をサン・ドミンゴと云ふ。

ドミニカ

ハイナ

◎クバー共和國

クバー(Cuba)は島形狹長にして頗る港灣に富めり、氣温高く灌漑の利に乏しからざれば、木材、珈琲、等あるのみならず、甘蔗を産すること夥しくして世界第一の稱あり、殊に煙草は良質を以て鳴る、貿易は一千二百萬磅に達するが砂糖と煙草とは重要輸出品なり、首府ハバナ(二三、〇〇〇)はアンタル諸島第一の都會にして商業盛なり、本島は一の獨立共和國を爲すべき筈なれども目下はアメリカ合衆國の占領する所たり。

南あめりか

●コロンビア共和國

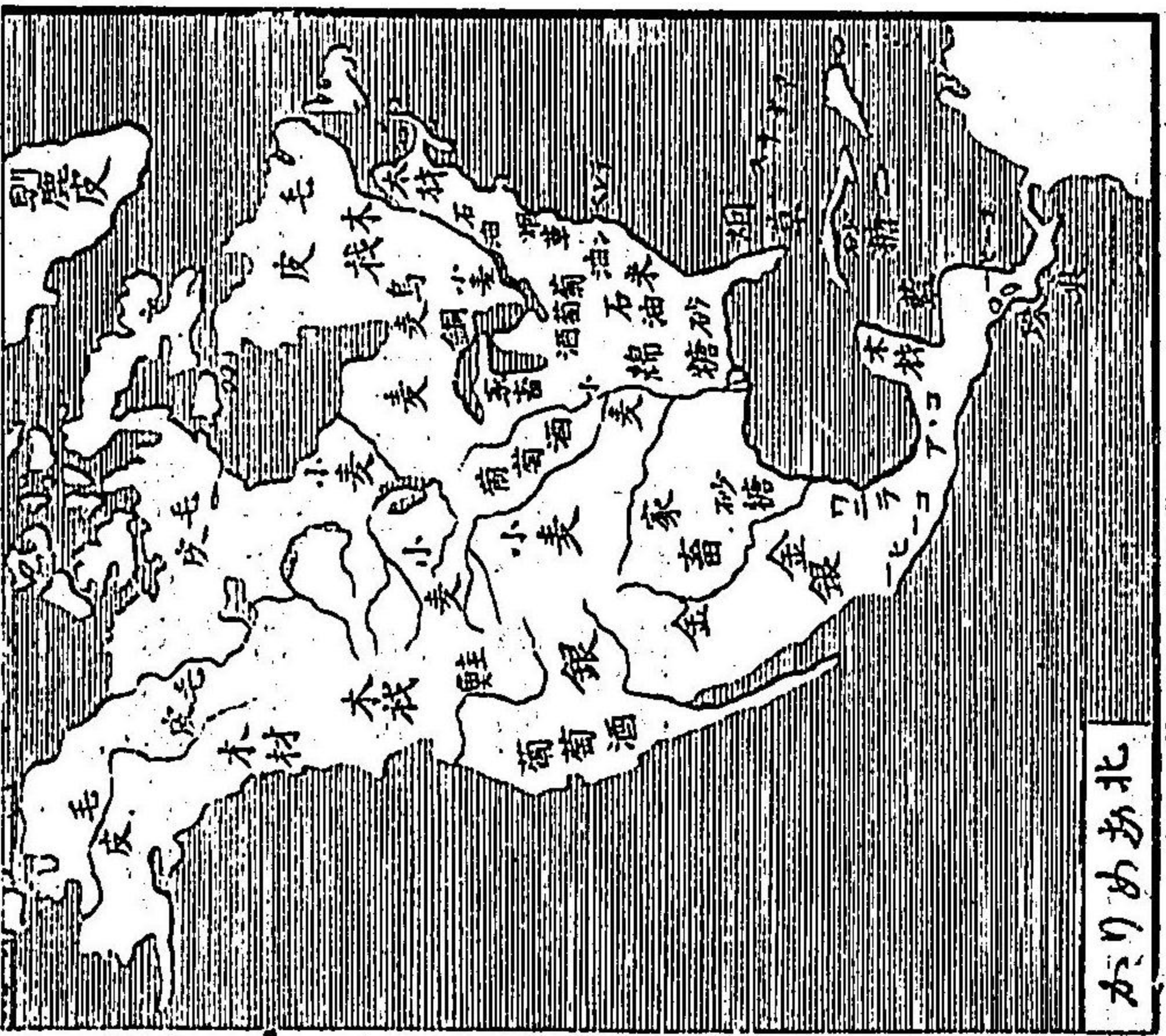
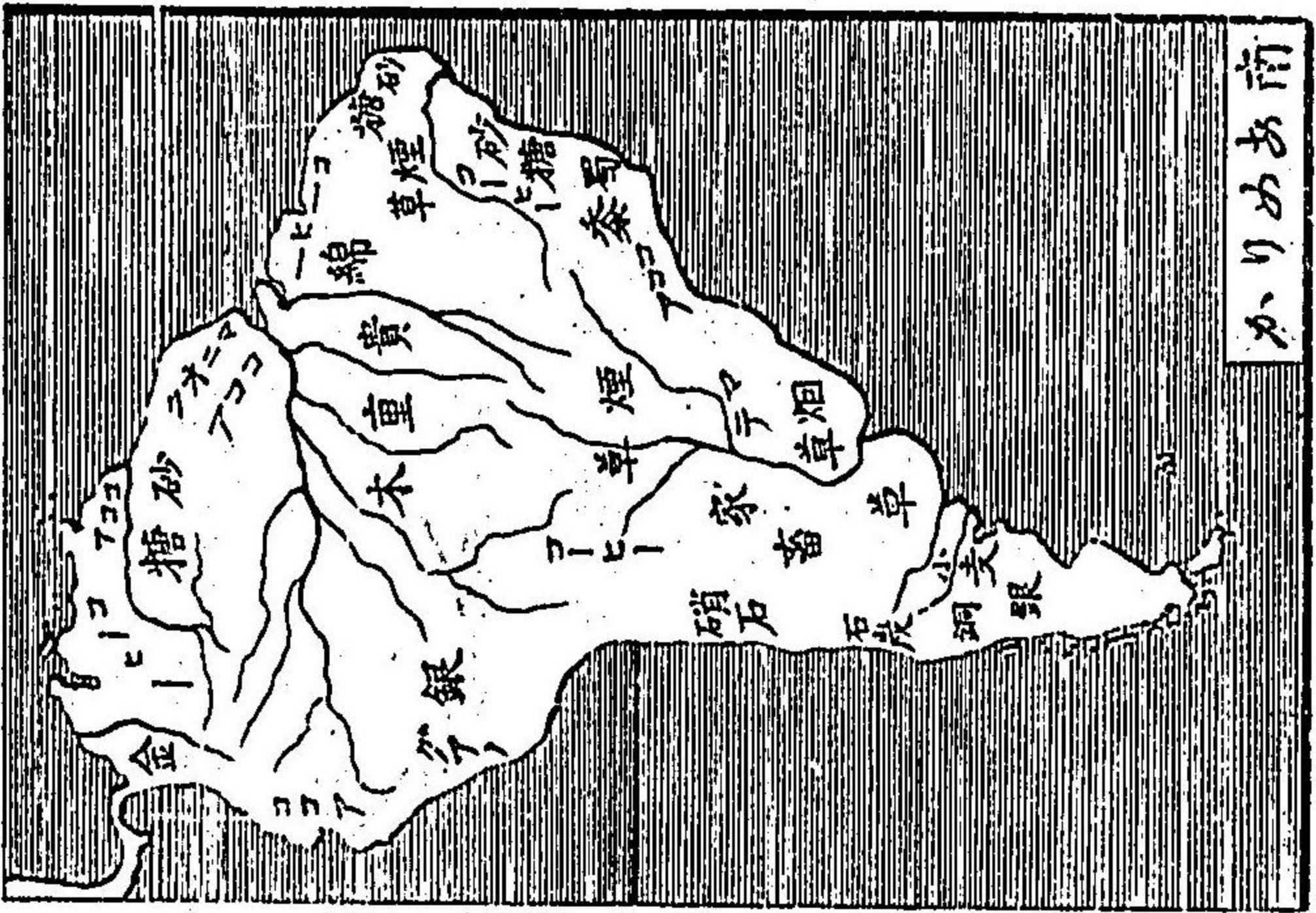
コロンビア共和國は南アメリカの北西隅及中央アメリ

I. Colombia
コロンビア

ハバナ

クバー

重 産 物



カ|の地峽部に跨る、氣候は沿海並に地峽の低地にありては暑氣強くして健康に適せざるも、土地の隆起するに従ひて温地と成り冷地と成るを見るべし、農業は實綿、煙草、「ココア」、等を産し、「鑛業」は貴金屬、寶石、等を與ふ、首府をボゴタと云ふ、「パナマ」港は太平洋に瀕す。

● ベネズエラ合衆國

ベネズエラ合衆國は南アメリカの北部にあり、首府をカラカスと云ふ、沿海の地はリアノスと共に炎熱を感ずれども南部の高地は然らず而して沿海地方は農帶、リアノスは牧帶、高地は林帶たり、山岳には金、銀、等の鑛物あり。

◎ グイヤナ

南アメリカの北部にありて大西洋に瀕しオリノコとア

I. Venezuela

ベネズエラ

グイヤナ

I. Guayana

アマゾン下流とに挟まるる地方をグイアナと稱す、沿岸の地にありては炎熱濕潤に苦しむも内部の高地は健康に適す而して北部の西端はベネズエラに屬し南部はブラジルに屬するが殘部はイギリス、フランス、オランダの間に分領せらる。

● エクアドル共和國

I. Ecuador
2. Peru

エクアドル

1. エクアドル共和國はコロンビアの南ペルーの北にあり、アンデス山脈は南北に走り、沿海の地並に山脈の東部は炎熱を感じず、山地には金銀を産し、アマゾン斜面には木材の無盡藏あり、首府をクイトーと云ふ氣候爽快なり。

● ペルー共和國

ペルー

2. ペルー共和國 (Republica del Peru) はエクアドルの南にあり

I. Bolivia

リマ

ボリビア

て亦太平洋に瀕するが、アンデス山脈は南北に走りて沿岸地、山岳地、森林地の三帯を形成せり、沿岸地は溪谷の地にあらずれば豊饒ならず、降雨極めて稀なり、山岳地は高峯を戴き、氣候爽快なる谷地に乏しからず、穀類を産し牛馬の飼養に適す、森林地は氣温高く空氣濕潤にして熱帶的の樹木を産す。

生業中にては鑛業最盛にして銀、硝石、コグアノ、等の採掘に従事するが、製糖業も亦見るに足るものあり、首府リマは降雨甚稀なる地にあり、カリオと稱する附庸港を有す。

● ボリビア共和國

1. ボリビア共和國は數國の間に介在する純然たる陸國たり、鑛物を輸出し首府をラパスと云ふ。

チレ

- 1. Chile
- 2. Brazil

サンチアゴ

土地

●チレ共和国

¹チレ共和国(Republica de Chile)は狭長の地にして地勢上三部に分る、北部は乾燥に失すれども地下には多量の礦物あり、南部は濕潤に過ぐれども亦礦物の蓄藏ありて漁産に富む、而して中部は氣候佳良にして最、農業に適す。

住民の大多數はエスパニア種の白人なるが、鑛業甚盛なり、硝石、銅、銀、グアノ等を産し、農業は穀類、葡萄酒等を産す、首府サンチアゴは寒暑の差稍甚しく、バルパライソは當國第一の商港なり。

●ブラジル合衆國

²ブラジル合衆國(Estados Unidos Do Brazil)は南アメリカの最大國なるが著しき港灣を有せず、國內は臺地多く山地の

アマゾン河

- 1. Madeira
- 2. Tapajos

氣候

天産

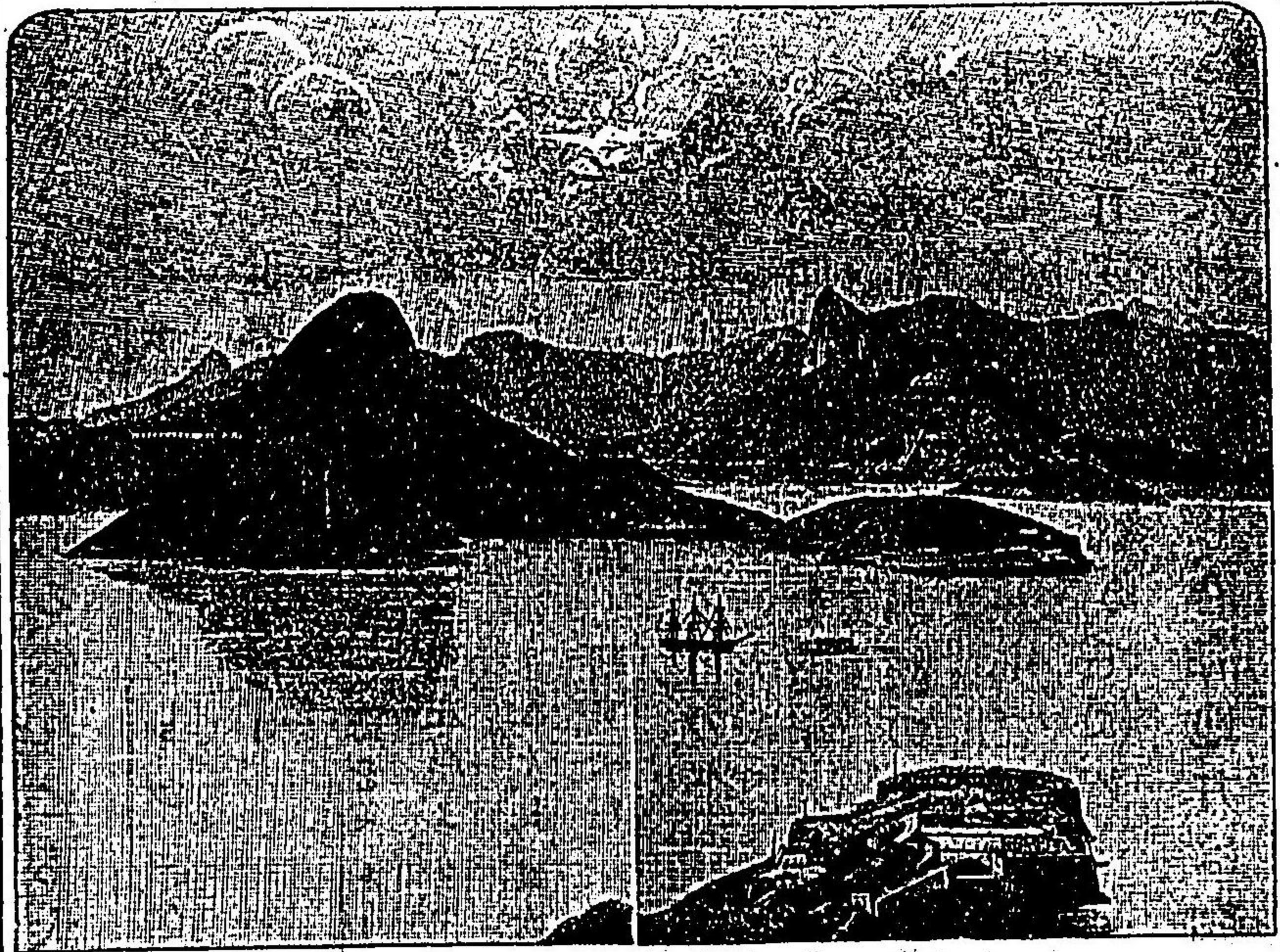
存するは南東部に限る、然れども大河巨流に富み、アマゾン、トカンチン、サーオフランシスコ等あり、灌漑の便を具ふる點に於て世界屈指の地たり。

アマゾン河、即ちアマゾン河は源をペルーのアンデス山脈に發し右岸よりマデイラ、¹タパヒオス、等を受け、左岸よりヤブラ、リオネグロ、等を容れ、河口に至り數個の島嶼を擁して海に注ぐ、長は六千浬、平均水量は八萬立方米突に達す、實に世界第一の巨流と稱すべし。

沿海の地並にアマゾンの平野にありては暑氣濕氣共に烈しく殆、四季の變更を感ずることなし、内部にありては寒暑の差稍甚しく乾候濕候の二季を有す。

土地は極めて豊饒にして森林に富み、地下には金、鐵、寶玉等を藏有す、農産に就きてはアマゾンの流域は「ユニア」「ゴム」「ワニラ」、木材等を産し、沿海地方は珈琲を産すること夥し、南

住
民



(臺 砲——灣 ロ イ ネ ッ ジ デ オ リ)

部の沿海地並に、内
部の高地は耕種、牧
畜に適す而して米、
綿、甘蔗等は各地に
産す、動物にはシブ
アル、猯、猿、猴類等あ
りて牛、馬、羊の如き
家畜も見ゆ。
住民は白人、黒人
土人、其の他より成
り、教育は近來長足
の進歩を爲したり

リオデ
ジアー
ネイロ

- 1. Paraguay
- 2. Uruguay

パラ
グアイ

ウル
グアイ

アル
ヒエン
ナ

政體は合衆共和國にして大統領あり國會は二院より成る
生業は驥々として改善の域に向はんとす。

首府リオデジアーネイロ(五二、〇〇〇)は一の良港に瀕し船舶
の出入繁く商業甚盛なり、パピア港も亦盛に通商に従事す。

●パラグアイ共和国

パラグアイ共和国は三國の間に介在する一小國なるが、マ
テ即ち「パラグアイ」茶、煙草等を産し、首府をアソンションと稱す。

●ウルグアイ共和国

東ウルグアイ共和国は農牧を主とし、煙草、甘蔗、珈琲を産す
首府モンテビデオは一大良港を有し市街も頗繁榮なり。

●アルヒエンナ共和国

アルヒエンナ共和国 (Republica Argentina) は南アメリカの

1. Argentina
2. Grand chaco



(傍近 シンシニア—コッシンラグ)

南部を占め、東は大西洋に臨み、西はアンデス山脈に接す。
北部のグランシニヤにありては寂寥たる深藪厚叢多く、中部のパンパスは廣漠たる草原に際限なきを疑はしめ、南部のパタゴニア臺地に於ては砂礫と壤土とは相半す、而して多數の並行山脈は宏大なる平野、肥

ブエノス
アイレス

沃なる谷地を挟みて億萬の人口を養はんと待つもの如し、而してパラナ河は多量の水を大西洋に注ぎて一大航河を爲せり。
政體は合衆共和國にして牧業を以て最要の富源とす、首府ブエノスアイレス(七五〇〇〇〇)はラプラダ河に瀕す、商業繁昌し工業も稍盛なれば南アメリカ第一の大都と成りたり、ロザリオはパラナ河に瀕する商業地なり。

● ホークランド群島

本群島はイギリスに屬するが住人少なし。

○ 人種

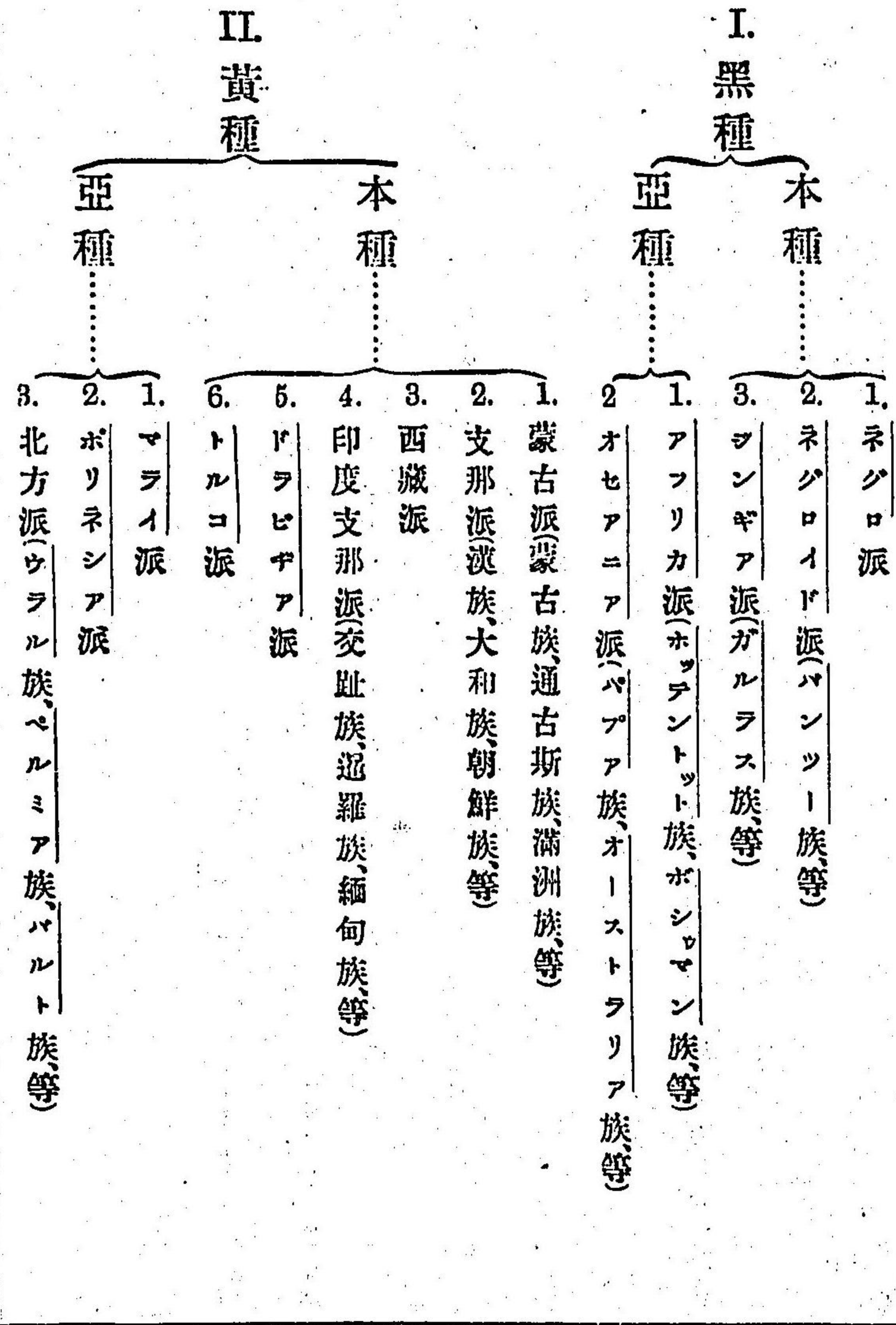
白人

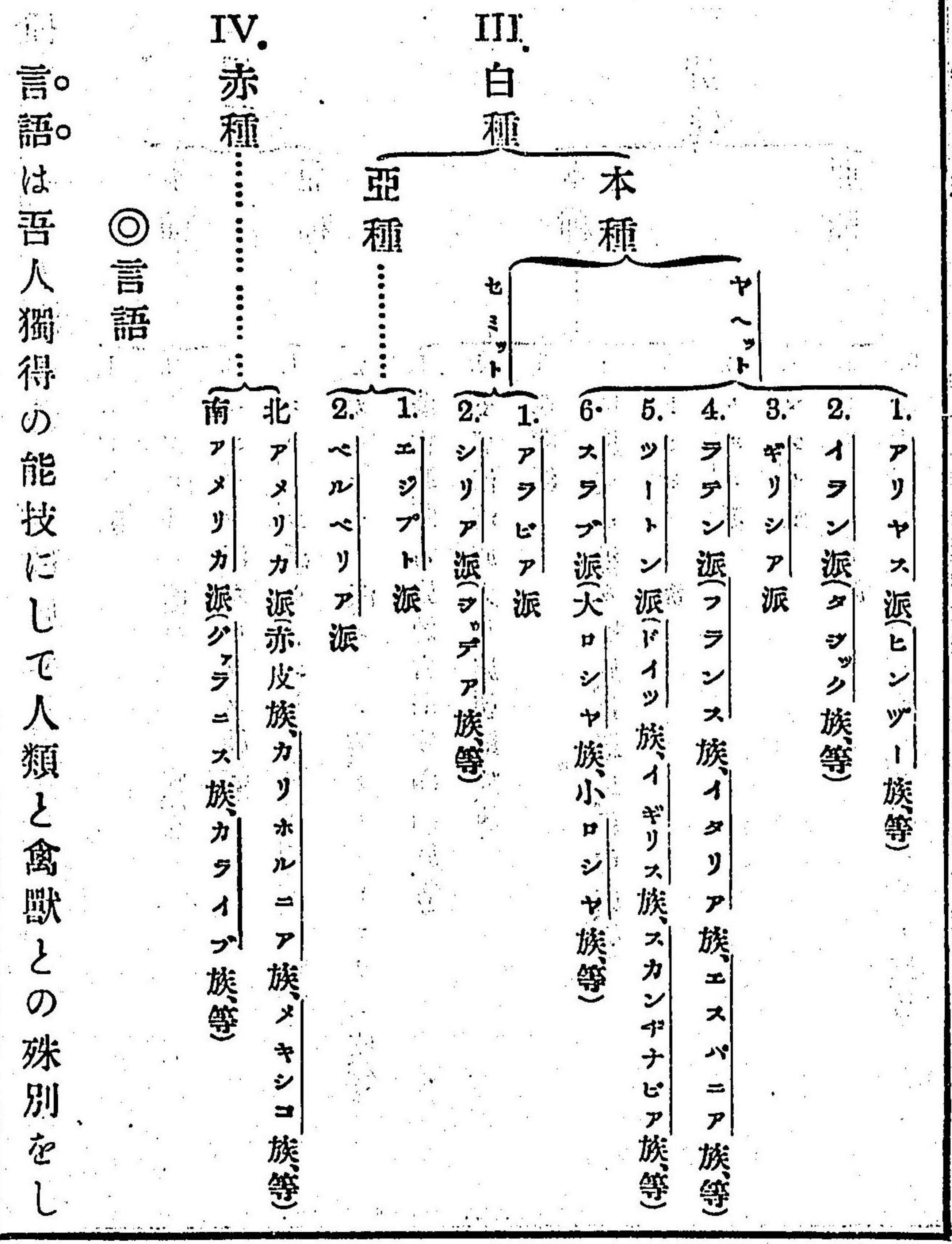
汎論

◎人種

人類(其の總員を十億と概算す)は動物界に於て特殊優秀なる地位を占むる者なるが、外觀的、解剖的、生理的、疾病的等の如き有形性、若くは智力的、道義的、信仰的等の如き精神性に基づきて之を四人種に區分するを得べし而して其の黒色人種(三億と概算す)は一にアフリカ人種と云ひてアフリカ洲の西部、中部、南部、東部等に居り、其の黄色人種(六億)は一に蒙古人種と云ひてアジア洲の東部、中部等を占め、其の白色人種(五億)はヨーロッパ人種とも稱するがアジア洲の西部、ヨーロッパ洲并にアフリカ洲の北部に住し、其の赤色人種は一にアフリカ人種と云ひてアフリカ洲の西部、中部、南部、東部等に居り、其の黄色人種(六億)は一に蒙古人種と云ひてアジア洲の東部、中部等を占め、其の白色人種(五億)はヨーロッパ人種とも稱するがアジア洲の西部、ヨーロッパ洲并にアフリカ洲の北部に住し、其の赤色人種

種はアメリカ洲の各地に散居せり。





て明確ならしむるもの一なるが、太古より現時に至る間に於て幾多の變異變差を経て各國各地特殊の通語を生じたれば其の主要なる者を擧ぐるも二百五十有餘に達すべし、然れども言語學上に於ては之を單音語、連綴語、變動語の三種に大別するを得べしと爲す而して言語を表記せん爲に使用する所の符號即文字に就きては形象的に生れ、表意的と成り、記音的に進むを以て文字發達上の原則と爲せり。

- I. 單音語
- 支那語、安南語、東埔寨語、緬甸語、暹羅語、西藏語
- II. 連綴語
- | | | |
|-------|-------|----------|
| ドラビラ語 | ツラニア語 | オーストラリア語 |
| アルタイ語 | バスク語 | アメリカ語 |
| アフリカ語 | マライ語 | |

III. 變動語

セミット派

インドヨーロッパ派

ギリシアラタン群

スラブ群 セルマニア群

セルト群 コーカシア群

◎宗教

世界の各處に於ける人民は居住地の情況、生存の情態、心性若しくは知識の發達等を異にするに拘らず、宗教的思想を有せざるもの殆^ニ罕にして之に報恩、恐怖、敬愛等の念慮の加はるありて遂に各種各派の宗教を現出せしめたるが如し、蒙昧の時代、無知の人民には拜物宗、偶像宗等の如き自然教の行はるるを常とすれども文物の稍開くるに至らば蟬脱して多神教と成り再變して二神教と成り更に進みて一神教に達するが如し、然れども古來唯物主義を採りて之を

主張せしものも亦少なからず、而して現時に於て世界に行はるる宗教を大別すれば自然教、印度教、佛教、ジデア教、耶蘇教、マホメット教の六種と爲すを得べし。

教名	信徒概數	播布地
自然教	二、三五〇〇 <small>萬人</small>	オセアニア、アフリカ、アメリカ等の未開の地
印度教	一、四〇〇〇	印度半島
佛教	五、〇〇〇〇	西藏、暹羅、清國、日本、等
ジデア教	八〇〇	ポルスカ、アフリカ、の北部、其他、各地
耶蘇教	四、二〇〇〇	ヨーロッパ、アメリカ、其他、各地
マホメット教	一、五〇〇〇	アジアの西部、南東部、アフリカの北部、中部

◎政體

茲に土地ありて人類蕃殖するも未^レ一國を成すに足らず、

一國の名を與ふるには土地と住民との外、更に他の要件なかるべからず、即ち一地方に棲息する人類の一團體中、上に主權者あり、下に被治者ありて然る後始めて國と稱するを得べし、而して主權者の世襲なる國は之を君主國と稱し、其の主權者を帝若しくは王と唱へ、主權者が被治者の撰舉に出づる國は之を共和國と稱し、其の主權者を大統領と唱ふ、又主權者が政令を發するに當り、其の專斷に據るときは專政と云ひ、一定の規約に従ふときは憲政と云ふ、其の他、一國にして一の主權者を戴くものを統一國とし、二ヶ國以上にして同一の主權者の下にあるものを聯合國、聯邦、若しくは合衆國とす。

貿易は各國各地の間に於て餘れるものを輸出し足らざ

◎貿易



るものを輸出し以て有無を交換し自他の利便を増進せんことを務むるにあり、されば一國の盛否を卜せんと欲する者は其の貿易上の情態如何を觀察するを以て捷徑と爲せり、蓋し文化の度高く百貨の生産に豊富なる國は原料を輸入して製品を輸出し、未開の國は天産の饒多なるに拘らず、製品の供給を他國に仰がざるべからず、中位にある國は輸入輸出共に原料若しくは製品の一に偏せざるを常とせり、而して現時に於ける貿易上の情態より考ふるときはイギリス、ドイツ、フランス等は上位にありてロシア、エスバニア等を始とし其の他、我が日本の如きも未だ此の域に達せざるものとせざるべからず、茲に二表を掲げて世界各國に關する貿易の情態を彼此相比するの便に供せり

國名	重要輸入品	重要輸出品
いぎりす	穀類、綿、肉類、木材、酪類、生毛	綿布、石炭、鐵物、機械、毛織物、鐵
どつ	穀類、綿、生毛、木材、皮革、石炭	鐵物、石炭、綿布、毛布
ふらんす	生毛、生絲、葡萄酒、石炭、木材	絹布、毛布、生毛、革類、葡萄酒、雜貨
し、わつ	生絲、穀類、石炭、鐵、生毛、貴金屬	絹布、綿布、時計、機械、酪類、絹絲
べるじく	穀類、木材、木脂、皮類、生毛、石炭	機械、石炭、皮類、鐵、麻絲、砂糖
いたりわ	石炭、穀類、綿、生絲、鐵、化學製品	生絲、絹布、葡萄酒、鷄卵、綿布、硫黃
あめりか合衆國	砂糖、皮類、化學製品、珈琲、生絲	穀類、綿肉、石油、銅、機械、畜類、木材
ねすてららひ	綿、石炭、生毛、煙草、機械、皮類	木材、砂糖、畜類、鷄卵、石炭、穀類
うんがるぬ	綿麥、石炭、船舶、木材、機械	鐵、葡萄酒、鉛、柑類、綿布、キヤルシ
ねすばにあ	機械、綿、茶、金物、石炭、鐵	穀類、亞麻、木材、石油、鷄卵
ろしや	綿、砂糖、鐵物、綿布、毛布、石油	生絲、絹布、綿絲、石炭、銅
日本	穀類、金物、石炭、酪類、木材	酪類、肉類、畜類、鷄卵
だんまろく	鐵物、石炭、毛織物、砂糖、鐵	木材、穀類、酪類、鐵金、肉、畜類、魚類
かなだ	石炭、穀類、機械、鐵物、珈琲、生毛	木材、鐵、酪類、ハルブ
すゑりけ		

國名	年次	輸入	輸出	全計	單位	概價
のるげ	一九〇〇	五二三〇七	三五四三七	八七七四四	一萬ポンド	八七七四四〇
清國	一九〇〇	五四三一	七六一一	一三〇四二	一萬ポンド	一三〇四二〇
印度	一九〇〇	三四二七	四八五九	八二八六	一萬ポンド	八二八六〇
あるひえんちな	一九〇〇	一六二六	七〇四	二三三〇	一萬ドラー	二三三〇〇
喜望岬殖民地	一九〇〇	一八〇八〇	一七〇六四	二五一四四	一萬ドラー	五〇二八八
かなだ	一九〇〇	一八〇〇	四六、一一三八	一〇七、九五五八	一萬マルク	五三、九七七八
どいつ	一九〇〇	五七、六五六一	四六、一一三八	一一、二八二〇〇	一萬ドラー	四五、六四〇〇
あめりか合衆國	一九〇一	八、二二〇〇	一四、六〇〇〇	二二、八二〇〇	一萬ドラー	四四、五六三六
ふらんす	一九〇〇	四五、一八三〇	四一、五二六〇	八六、四〇九〇	一萬フランク	三四、五六三六
おらんだ	一九〇〇	一九、五〇二〇	一六、九〇九〇	三六、四一一〇	一萬フランク	三〇、五八四七
ろしや	一九〇〇	六、五〇四八	六、二六九八	一二、七七四六	一萬ルーブル	二〇、四三九四

國名	年次	輸入	輸出	全計	單位	概價
べるじく	一九〇〇	二二、一五八〇	一九、二二九〇	四一、四八七〇	一萬フランク	一六、五九四八
えすてるらいひ	一九〇〇	一六、九六三六	一九、四二〇〇	三六、三八三六	一萬フランク	一四、五五五七
うんがるぬ	一九〇〇	一七、〇〇三三	一三、三八二四	三〇、三八四七	一萬ドラー	二二、一五三九
いたりあ	一九〇〇	二、〇六八〇	八、八四八九	二〇、九一六九	一萬フランク	八、三六六八
しゝあしり	一九〇〇	一〇、四五三九	八、六四三六	一九、〇九七五	一萬ペセタ	七六、三五〇
えすばにあ	一九〇〇	二、六四七四	一、九五七八	四、六〇五二	一萬關兩	六、四四七三
清國	一九〇〇	三、二六九二	二、二〇一三	五、四七〇六	一萬圓	五、四七〇六
日本	一九〇〇	一、二三四八	一、五四六〇	二、六七九五	一萬金、ペソ	五、三三九〇
あるひえんちな	一九〇〇	五、〇四七八	三、五八一八	八、六二九六	一萬クロナ	四、八三二五
すふりけ	一九〇〇	四、九二〇八	三、六四五二	八、五六六〇	一萬クロナ	四、七九七〇
だんぢるく	一九〇四	三、一〇六五	一、七二九四	四、八三九四	一萬クロナ	二、七〇八〇
のるげ	一九〇四	三、一〇六五	一、七二九四	四、八三九四	一萬クロナ	二、七〇八〇
ほるとがる	一九〇四	三、一〇六五	一、七二九四	四、八三九四	一萬クロナ	二、七〇八〇

◎交通

通路に自然的あり、人工的あり、水路あり、陸路あり、往昔は

自然的陸路に據るを主とせしが人智の漸進むに従ひて沿岸の水路を利用するに至り殊に近時に於ては交通機關に非常の發達ありて海上には大船巨舶の疾走するあり陸上には七十萬籽の軌道の建造あり而して船舶に就きてはイギリスは一千六十萬噸を以て首位を占めアメリカ合衆國ドイツノルゲ等は之に次ぎ鐵道に就きてはアメリカ合衆國は三十萬餘籽を以て首席にありてイギリスドイツロシア等は之に次げり

商		鐵		
國名	隻數	噸數	國名	籽數
イギリス	三四八九六	一〇六〇二〇〇〇	アメリカ合衆國	三〇、〇六三六
本國	一九九四二	九一三、八〇〇〇	ドイツ	五、〇九六一
殖民地	一四九五四	二四六、四〇〇〇	ロシア	五、〇八八五

國名	船			道		
	隻數	噸數	日數	國名	隻數	日數
アメリカ合衆國	二二七二八	四八六、四二三八	四、二四三九	フランス	二四〇〇	三、四五一四
ドイツ	三七一三	一六三、九五五二	三、四八五六	イギリス(本國)	二四〇〇	三、四八五六
ノルゲ	六八二六	一五三、四九三四	三、七七八三	インド	二四〇〇	三、七七八三
フランス	一、五六一五	九〇、〇二八三	二、七三六一	カナダ	二四〇〇	二、七三六一
イタリヤ	六一四八	八一、五一六二	二、四〇〇〇	オーストラリア	二四〇〇	二、四〇〇〇
エスパニア	一五〇六	七一、八三三八	三、四五一四	エストラルライヒ	二四〇〇	三、四五一四
日本	三〇四四	六二、八三二四	一、六三九九	ウングアルス	二四〇〇	一、六三九九
ロシア	二〇八四	三三、八七四三	一、五六九六	アルヒエンチナ	二四〇〇	一、五六九六
エストラルライヒ	一、三三〇八	二〇、八六七三	一、四七五三	イタリヤ	二四〇〇	一、四七五三
ウングアルス	六二四	?	一、四〇三八	メキシコ	二四〇〇	一、四〇三八
オランダ	七三	一〇、八五三七	一、三〇四八	ブラザル	二四〇〇	一、三〇四八
バルチック			七	エスパニア	二四〇〇	七

日本	イギリス	インド
横濱 香港 シンガポール コロンボ ホンベイ 横濱 ボールサイド マルセイユ ロンドン アンペール 横濱 香港 マニラ 木曜嶋 シドニー マルホルン 香港 下関 神戸 横濱 ホノルル シアットル	リバプール クインズタウン ニューヨーク リバプール ハリハックス リバプール リオデジャネイロ パルバイソ カリアオ ロンドン ボールサイド コロンボ カルカタ ロンドン プリンゼン シドニー サウサムプトン バルバドス コロン サウサムプトン マダイラ ケープタウン ナタル	プレメルハーヘン モンテビデオ ブエノスアイレス シンブルヒ ボールサイド 香港 横濱 膠州灣
五七〇〇 一一九八一 六八一八 七五九〇	三〇二八 二四五〇 一一〇六九 八二五〇 一二五〇〇 五二五二 六六七八	八八八五 三六〇〇 六八六三 一一七五
三八	八 八 四八 三三 四八 一九 二二	五四 八 三五 六一

國名	最長鐵路	日數
ア	ニューヨーク オマハ ナイーメンヌ オクデン サンフランシスコ ニューヨーク ヒラデルヒア シカゴ タコマ	五 五 五
メ	ハリハックス モントリオール キンニペグ ハンクーバー	五
他	アンペール コンゴ アムステルダム パラナリボ アムステルダム セノア ボールサイド バタビア ニューヨーク ハバナ サンフランシスコ ムサオ ルアーブル セントマヌ ボールト プレンヌ マルセイユ アデレード シトニート ヌーメア	二五 二八 三九 四 一八 三三 三九 三三 四一九五 四二九五 三三〇〇 一一〇〇 九一三九 五〇四一 四八三〇
ツ	シンブルヒ アデン ザンバル デラゴア ナタル	五四

カ 洲	ニューヨーク ニューオールドリファンズ メキシコ ブエノスアイレス パルマライオン	三
ヨーロッパ 洲	リスボン マドリード パリ ベルリン ペタルブルグ ロンドン フランクフルト キエン コンスタンチノープル ロンドン ブリクセル ミラン プリンヤシ	二
ア 洲	ホン ベイ カル カッタ	一

◎殖民

殖民とは或國の住民が本國以外の地に於て殖産の利を收め移民の益を得るを以て目的とする事業を云ふされば殖民地に就きては殖産的あり、移民的あり、殖産と移民とを兼ねるあり、而して本業を企圖するは本國の地理的位置に關するは勿論、其の住民に特殊の性質、技能、等を要するは明

なれども移住者の饒多なると資金に豊富なるとは大に與りて力ある者と知るべし、且又殖民地の發達は本國の助力干涉に始まり漸次に自治自活に到り獨立に終るを常とす。玆に殖民事業に關する現時の情態を畧記せんに最舊より最新に及ぼさんとす。

ホルトガル人はヨーロッパの西端に於ける狹隘の地に國を建つるが故に、陸上に事を爲すの難さと海上に利を得るの易さを先覺して立ち、以て商業的殖民地を各地に設け一時は盛大を致せしも、本國の微力なると競争國の優勢なるとに因りて漸衰退を來たし遂にインド、ブラジル等を失ひしが今尙二百十五萬方杆の地域と八百六十萬人の住民とを有せり。

エスバニア人はホルトガル人に效ひ商利を得るを目的として立ち、領土の擴張と宗教の傳播とを兼ね、一時は尨大の殖民地を保有するに至りしも、施政上に過失多く、經濟の原則に戻りたるが爲、各殖民地の離叛を來たしたれば現時は僅に二十二萬足らずの地を餘ますのみ。

オランダ人は特有の性質技能に基づき、巧に海上に驅逐して殖産的土地を領し以て、前記の二種族に劣らざる事業を爲し、一時は旺盛を極めしが、有力なる競争者の出現するに逢ひて勢退步せざるを得ざるの非運に陥りしも、今尙二百餘萬方呎の土地と三千五百有餘萬の住民とを以て優に殖民國の一たるの實を保有せり。

フランス人は本國の富力と兵力とに據りて各方面に向

ひて有望の地を擴張せしも、虚名に走りて實利を收得するの策を講ぜざりし爲、ヨーロッパの多端なりし際、殖民地は殆ど全滅に歸したり、然れども本國の富強は本業に至大の關係を有するが故に再興を圖るや、半世紀にして殖民國中の第三位を占むるに至れり。

イギリス人は所謂先天的の殖産移民家なるにや、本業を企圖するに當りて、良土豊地の多くは他國に屬し、商權は先進者の專有する所なりしに拘らず、事を遠大に期し、強者と謀り弱者を抑へ、尺進に甘ずるを知り、しかも寸退を之れ恐れ、主として領土の擴張を務め、遂に當今の如く空前の殖民的大帝國を構成せり。

ロシア人の殖民事業を企圖するや、其の方法は全然他國

人の爲す所と異なり、兵力を基とし、宗教の幫助を受け以て漸次に領土を擴張し、住民を撫育し、國域の連綿として廣大なる實に古來無比の大北帝國を現出せしめたり。

イタリヤ人の斯業に於けるや、成功少なし、是も事業を企圖するに當り、其の方法に慎重を缺きたるの故ならん、然れども南アメリカに於ける移民には、稍見るべきものあり。

ドイツ人は、戰勝の餘榮として本業を起し、僅に數十年にして二百六十萬方秊の地と一千二百餘萬の住民を領有するに至れり、されば世界の殖民國中に於て第四位を占むるの名は存すれども、未利用の實を収むる能はざるが如し、然れども本國の生産大に増し、船舶の發達甚速なれば、殖民事業も亦頗有望なりと云ふべし。

アメリカ人は、移民的イギリス人の子孫に、ドイツ人、イタリヤ人等を交へたるものなるが、富源の饒多なる國土に據り、増加の迅速なる住民に基づき、エスバニアが遺失せし土地を収得し、一躍して殖民國の列に加はりたり。

殖 民 地		國 名	面 積	人 口	國 名	面 積	人 口
1. イギリス	2. ロシヤ	3. フランス	4. ドイツ	5. オランダ	6. ホルトガル	7. アメリカ	8. イタリヤ
二七七八 <small>方秊</small>	一六五七	?	二六〇	二〇四	二二四 <small>方秊</small>	四二	八六〇 <small>方人</small>
三四七一五 <small>方人</small>	二二七〇	四四八二	一一三二	三五三三	二	一〇五四	?
9. エスバニア	10. マンマルク						
?	一九						

◎探檢

探檢とは地形、氣候、天産等に關する學術上の事實を研究

- 1. Prijevalski
- 2. Sven-Hedin

するか若しくは拓地、通商、移民等に関する殖産上の事項を探究するの目的を以て実施せらるゝ事業を云ふ、斯る事業を企圖する者には特殊の知識技能を要するは勿論なれども亦有爲、着實等の美性を備へざるべからざるや明なり、而して探検事業を實行せし人は古來少なからざるも茲に近代の旅行者中にて最、著名なるものを地方別になして列擧せんとす。

アジア洲の中央部を世に紹介せし探検者に就きては蒙古、新疆、西藏等の地を跋涉せしロシア人のプリイェワルスキ(一八七一—一八八八)并にバミール高原、西藏地方等に旅行せしスエリゲ人のスエーデンヘーデン(一八九三—一九七)等最、名を知らる。

- 1. Tasman
- 2. Flinders
- 3. Cook

オセアニア洲に就きて最、顯名なる探検者はオーストラリア大陸の南岸、タスマニア島を發見せしオランダ人のタスマン(一六四四)同大陸の地形を知悉したるイギリス人のフリンドース(一七九八—一八〇二)なるが殊に著大なる功績あるはイギリス人のクークなりとす。

クーク(1728—1779)はイギリスの人なり、第一旅行(一七六八—一七七一)に於てツヒチー島、ツシエテ群島、新ジブランド島等を巡視したる後にオーストラリア大陸の東岸に達し、第二旅行(一七七三—一七七四)に於てマルキス諸島、トンガ諸島、新ヘブリヂ諸島等を探検し、又新カレドニア等を發見し、第三旅行(一七七七—一七八)に於て北太平洋の各島を探検せしがハワイ群島の地に至り土人の毒手にかゝりて落命したり。

アフリカ洲を探検せし旅行者も少なからざるが、就中著しきものはスーダン地方に於けるドイツ人のバルト(一八

- 1. Barth
- 2. Stanley
- 3. Cameron
- 4. Livingstone

五〇〇五五、コンゴ地方に於けるイギリス人のスタンレー
 (一八七八—一八八八)南アフリカの横断旅行に先登第一
 の名譽を得たるイギリス人のカメロン等にして殊に著名
 なるはリキングストーンなり

リキングストーン(1819—1873)はスコットランドの人なり、宣教師としてクープ
 に赴任したる後、漸次に北上してニヤミ湖附近を視察し(一八四九)ザンベジヤ
 の上流を溯りてロアンダに出で(一八五一—五三)ザンベジヤの流域ニヤッサ
 湖地方等に旅行せしが、ニール河の水源を探究する際不幸にして病歿した
 り(一八七三)博愛主義の人としては大に黒奴廢止に力を致し、探検者として
 は西アフリカ内部を世に紹介したり、實に有数の人傑と稱すべし。

- 1. Columbus
- 2. Cabot
- 3. Vespucci

アメリカ洲の探検に關しては有名なるコロンブスを始
 としカナダ地方に於けるエネシア人のカボット(一四九四—
 九七)グアナに達せしイタリア人のエスプッシ(一四九九)ブラ

- 4. Cabral
- 5. Pinson
- 6. Ponce de Leon
- 7. Balboa
- 8. Magellan

ジルに漂着せしホルトガル人のカブラル(一五〇〇)、ユカタ
 ン并にラプラタの沿岸を發見せしエスバニア人のピンソ
 ン(一五〇六—一〇)、フロリダを發見したるゴンズデレオン
 (一五一二)始めてパナマの地峽を通過せしバルボア(一五一
 三)南端の海峽を通過して始めて太平洋に出で世界の周航
 を爲せしマガラエス等あり。

コロンブス(1436—1506)はイタリアのゼノアに生れ、長じてエスバニアに仕
 へ女皇イザベラの補助に依りて新世界を發見するの榮を得たり、第一旅行
 (一四九二—九三)に於てグアナハニ、クバ、ハイチ等を發見し、第二旅行(一四九
 四)に於て小アンタル諸島、ポルトリコ、ジャマイカ等を發見し、第三旅行(一四九
 八)に於てオリノコ河の附近に到達し、第四旅行(一五〇三)に於てホンダラス、
 コスタリカ等を發見せしも、其の功績は世人の爲に認められず、憂苦の裡に
 エスバニアのセビラに於て病歿したり。

- | | | |
|------------------|------------------|-----------|
| 170 Nordenskiöld | 6. John Franklin | 1. Davis |
| 42 Nansen | 7. Mac-Clure | 2. Hudson |
| | 8. Barents | 3. Baffin |
| | 9. Payer | 4. Parry |
| | 10. Weyprecht | 5. Ross |

北極地方の探検は有利なる海獣の捕獲若しくは太平洋と大西洋とを連絡すべき北西通路并に北東通路の探究に原由せしも近時にありては専ら學術上の目的に據るもの多きが如し而して北西通路に就きてはカボット(一四九七)ダビ
 ス(一五八五)ハドソン、²バビソン(一六一六)、⁴バリー、⁵ロス、⁶フランクリン(一八四五)等の旅行を経てマッククリップ(一八五〇)に至りて成功したり、北東通路に關しては探検を企圖せし者少なからざるが就中オランダ人の⁸バレーン(一五九六)、⁹エストラルライヒ人の⁹バイエル及¹⁰ワイプレヒ(一八七二)等は稍著しくしてベールディング海峡に達せしはスエリゲ人の¹¹ノルデンスキヨルド(一八七八)に達せしはスエリゲ人の¹²ナンセン(一八九七)あり、同八七九なり而して北極に接近せし旅行者には北緯八十六度

- | | |
|-----------------|---------------------|
| 6. Wilkes | 1. Dick Cherrit |
| 7. James Ross | 2. Bellinghausen |
| 8. Borchgrevink | 3. Biscoe |
| | 4. Balleny |
| | 5. Dumont d' Urvile |

十五分に達せしスエリゲ人の¹²ナンセン(一八九七)あり、同八十六度三十三分に達せしイタリア人の¹²アブリッヂ公あり。南極地方に關してはイギリス人の¹ダックチーリット(一五九九)の南極圏を越えたるを始とし同圏を三回通過せしクック(一七七二)七五、²ベリングハウゼン(一八二二)、³ビスコー(一八三一)、⁴バレーニー、⁵ダモン、⁶ガルビーニ、⁶キルクス(一八三九)四二、⁷ビクトリア地方を發見せし⁷ジームスロス、等あり、殊に⁸ホルヒグレベック(一八九四)九五は學術的探検者として有名なり。

外國地誌終

世界各國領土比較表

國名	地積	國名	地積
1 ムギリヤ	二八〇八	15 ペルシヤ	一六四
2 ノルウェー	二二四八	16 コロンビア	一三三
3 清	一一二四	17 ぼりびわ	一三三
4 あめりか	九六四	18 ベネズエラ	一〇三
5 ふらじろ	八三四	19 ちれい	七五
6 ふらんす	?	20 エスパーニヤ	七二
7 とるこ	四一三	21 エスデラビ	六三
8 どいつ	三二四	22 暹羅	六三
9 あるびんちな	二八八	23 いたりあ	?
10 こんご	二三五	24 日本	四二
11 ほるとがる	二二三	25 エクアドル	三〇
12 おらんた	二〇七	26 ぼらぐ	二五
13 めさしこ	一九九	27 だんまろく	二三
14 ぺる	一七七	28 韓	二三
		29 ちるぐ	二九
		30 ノルウェー	二二
		31 ぐあてまら	二二
		32 にからぐ	二二
		33 ほんぢら	二二
		34 りべりあ	八五
		35 ぎりしわ	六五
		36 こすたりか	五五
		37 するびわ	四八
		38 とみにか	四八
		39 しわいつ	四二
		40 べるじく	二九
		41 はいち	二八
		42 びるばる	二二

世界各國人口比較表

國名	人口	國名	人口
1 いぎりす	三、九四〇、六〇〇 <small>万人</small>	15 めきしこ	一、三五五、〇〇〇 <small>万人</small>
2 清	三、三〇〇、〇〇〇	16 べるしわ	九〇〇、〇〇〇
3 ろしや	一、二八九三、〇〇〇	17 はるとがる	八五〇、〇〇〇
4 あめりか	八、四三九、〇〇〇	18 韓	七五〇、〇〇〇
5 ふらんす	八、二九〇、〇〇〇	19 べるじわ	六八一、〇〇〇
6 どいつ	五、六三六、〇〇〇	20 暹羅	六三二、〇〇〇
7 日本	四、六九六、〇〇〇	21 ろまーにあ	五九一、〇〇〇
8 えずてららいいひ うんがるぬ	四、五三一、〇〇〇	22 すゑりげ	五一四、〇〇〇
9 とるこ	三、九七三、〇〇〇	23 あるひまんちな	四七九、〇〇〇
10 こんごー	?	24 べるし	四五六、〇〇〇
11 いたりわ	?	25 ころんびわ	三八七、〇〇〇
12 おらんた	三、五一九、〇〇〇	26 しゝわいつ	二九一、〇〇〇
13 ねすばにあ	一、八〇八、〇〇〇	27 ちれい	二七一、〇〇〇
14 ぶらじる	一、四三四、〇〇〇	28 するびわ	二四九、〇〇〇

各陸軍比較表

國名	平時	戰時
ろしや	九〇 <small>万人</small>	三五五 <small>万人</small>
どいつ	六〇	二五〇
ふらんす	五二	二四〇
いぎりす	五一	九五
えずてららいいひ うんがるぬ	三七	一八〇
いたりわ	二六	三三〇
日本	一六	六〇
とるこ	一四	七五
ろまーにあ	一二	二七
えすばにあ	一一	二五
あめりか	一四	二三
すゑりげ のるげ	七	三八
はるとがる	三	一五
めきしこ	三	一五

各海軍比較表

國名	排水量
いぎりす	二二六 <small>万吨</small>
ふらんす	七八
ろしや	五一
いたりわ	四〇
どいつ	三九
あめりか	三〇
日本	二五
えずてららいいひ うんがるぬ	一四
おらんた	一〇
えすばにあ	七三
とるこ	七
あるひまんちな	六一
ぶらじる	四七
だんまろく	四二

各 國 出 債 比 較 表		國 名	歲 出	平 人 均 額	國 債	都 名	人 口
いぎりす	二四、四六九三	五八、八二	六七、二六〇八	1. ろんどん	四五四		
ふらんす	一四、二二七八	三六、八〇	一一〇、三八七五	2. にーよーく	三四三		
あめりか	一四、一九四六	一八、五七	二二、九〇〇四	3. ぱりー	二六六		
どいつ	一一、七七〇六	二〇、八七	一一三、三九九	4. べるりん	一八九		
ろしや	一一、七〇八六	九〇、八	四九、六八四五	5. ちかご	一七〇		
えすてるらいひ らんがるぬ	一〇、八二七六	二二、八八	三六、二二二七	6. むえん	一六六		
いたりあ	六、九七〇八	二二、五一	四〇、〇〇〇〇	7. 東京	一四四		
ねすばにあ	三、五一五一	一九、四三	三五、八一三三	8. べてるぼるく	一四三		
日 本	二、七七五〇	五、六九	五、一〇一八	9. かるかつた	一三二		
べるじく	一、九五五九	六、七二	一〇、六〇三六	10. ひらでるひあ	一三〇		
おらんた	七、七六九	一四、九九	五、六七八〇	11. もすくわ	一〇四		
しやん	四、一一〇	一一、四二	—	12. 北 京	一〇〇		
めいしよ	三、三〇〇〇	二、四四	二、二四四四				

明治三十五年二月廿五日印刷
 明治三十五年三月一日發行

(外國新地誌)
 定價金七拾錢

著 者

野 口 保 興

東京市本郷區駒込
 四片町十番地

發 行 者

目 黒 甚 七

東京市京橋區南傳馬町二丁目
 五番地(電話本局二二六三番)

發 行 者

河 出 靜 一 郎

東京市日本橋區通三丁目
 十番地(電話本局二七七七番)

印 刷 者

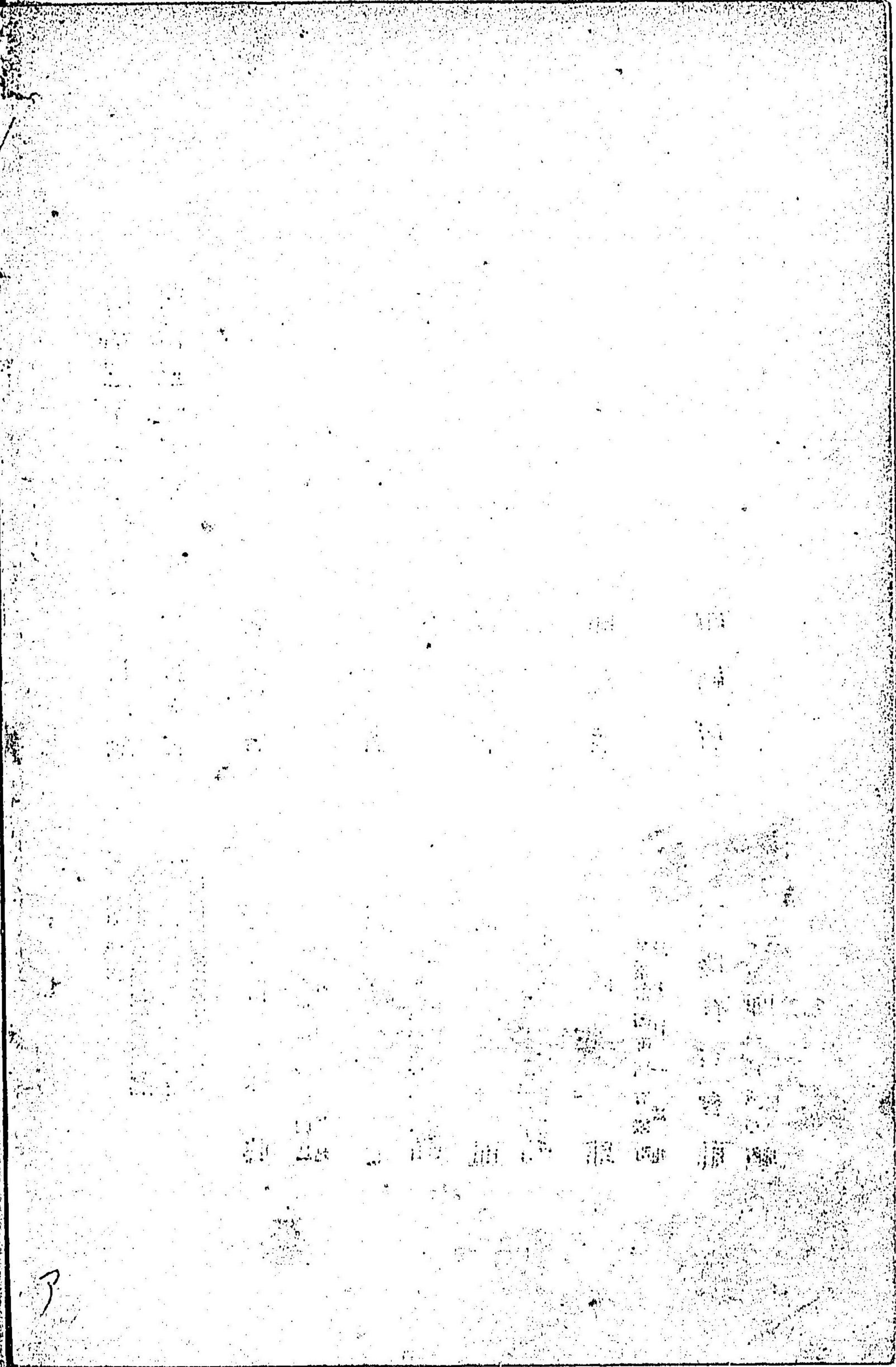
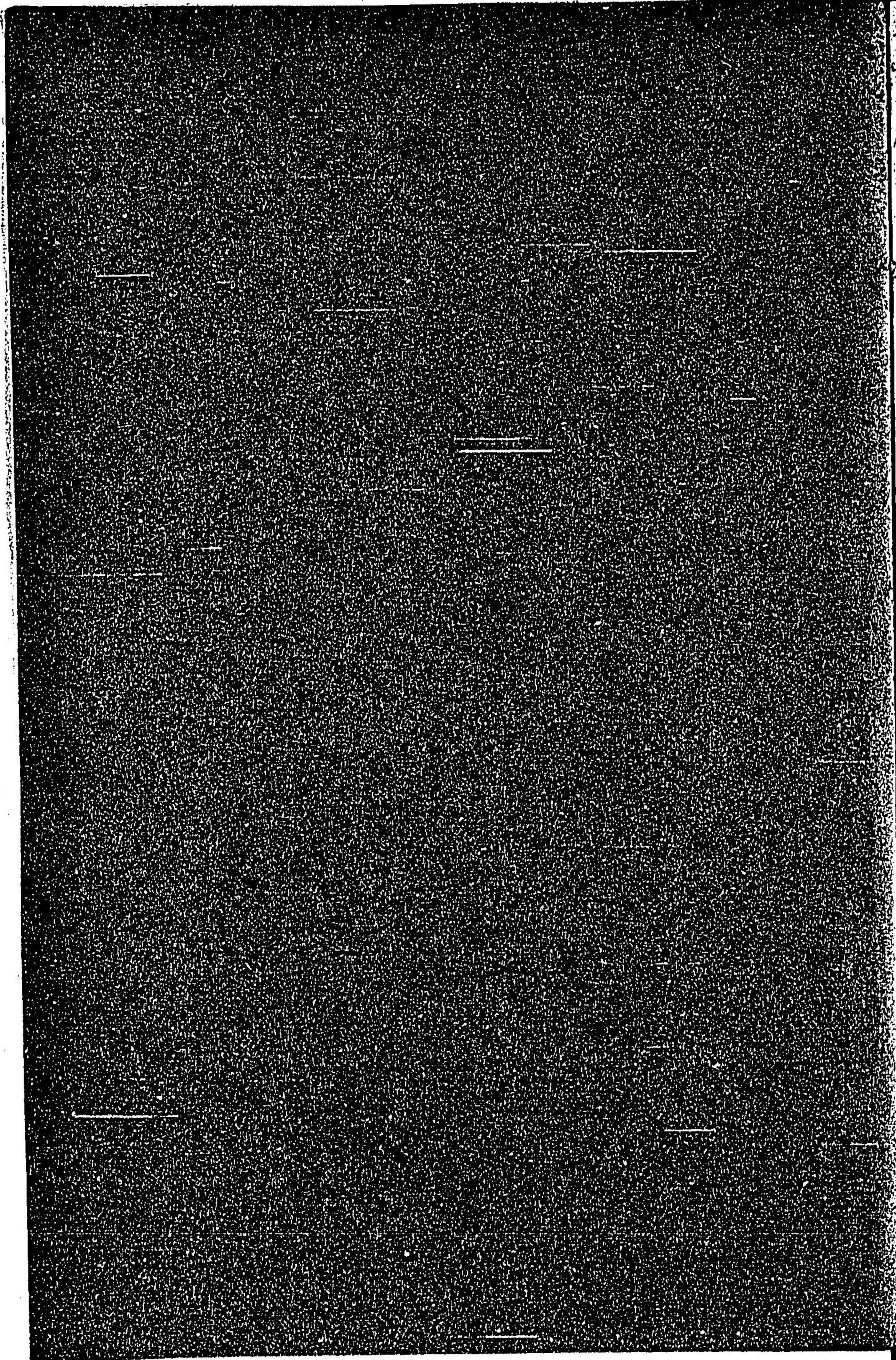
大 西 鍊 三 郎

東京市麹町區有樂町
 三丁目一番地

印 刷 所

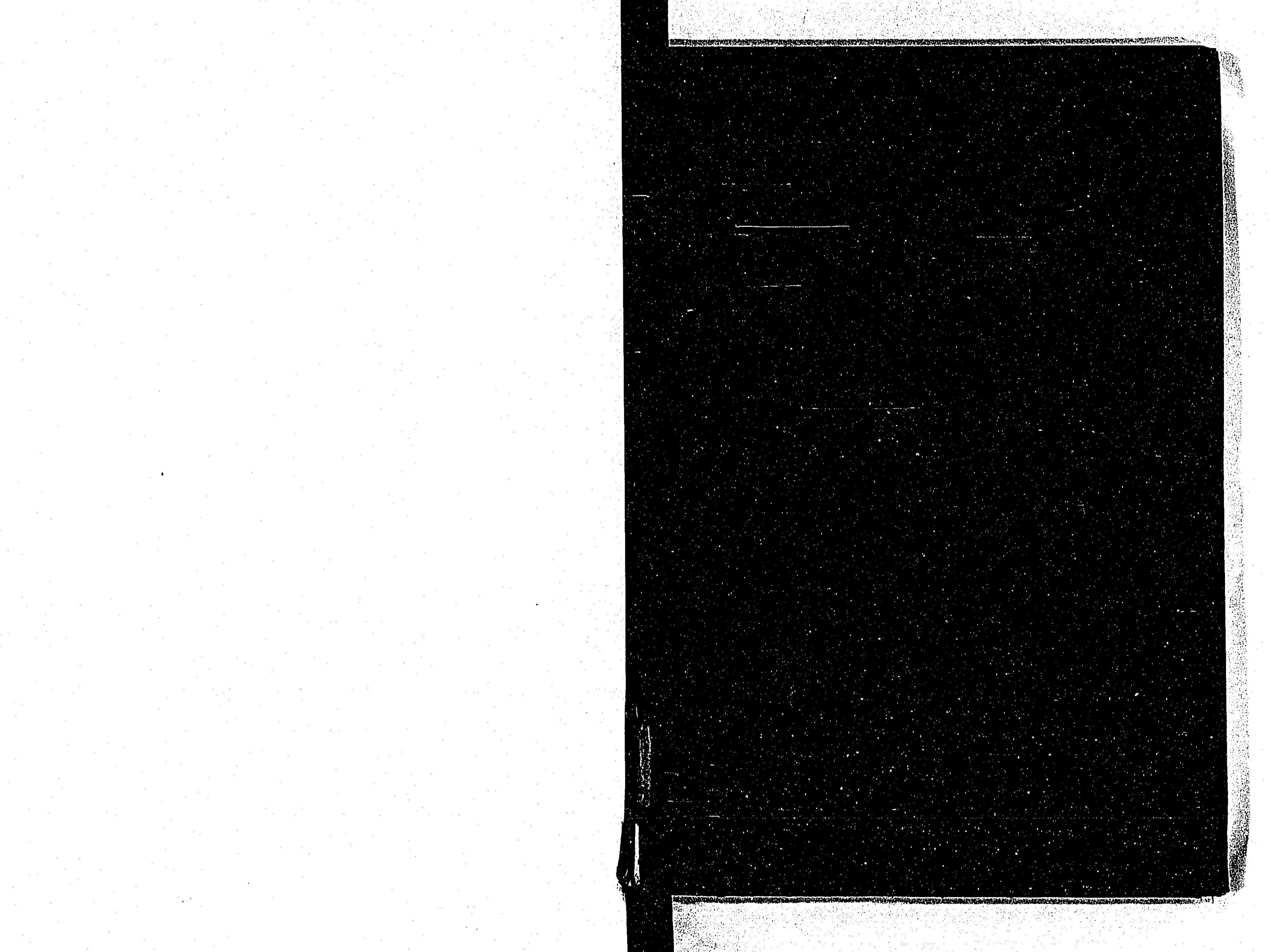
三 協 合 資 會 社

東京市京橋區弓町
 二丁目四番地



3

93
784



93
134

